週刊 YEARBOOK

1985
昭和60年

日録20世紀

4|14
平成10年4月14日発行
(毎週1回発行)第2巻第14号
¥560
講談社

日航ジャンボ"御巣鷹の悲劇"

エイズ日本上陸と"抹殺"された2患者の死
618万本販売! 「スーパーマリオ」大ブレイク
"1億総グルメ"時代が変えた日本人の舌

32分間の「ダッチロール」の後に
犠牲者520人、航空史上最悪の事故!

日航ジャンボ "御巣鷹の悲劇"

▲日航機墜落現場。機体は広範囲に散らばり、わずかに主翼の一部と尾翼が原形をとどめるだけ。急斜面ということもあって、遺体の捜索・収容は困難をきわめた。 共同通信社

▲迷走を続けた日航機は、御巣鷹(写真前方)に激突、炎上した。 共同通信社

なぜか一二日前後に航空関係の事故が続いた昭和六〇年。"魔の一二日"のジンクスがあるとささやかれた。四月一二日に羽田・成田空港でゲリラ事件、五月一三日には羽田発千歳行きのオイルパイプに着火、一二月一二日は成田発名古屋行きがエンジン故障でUターン。その中で最も悲劇的な結末になったのが、八月一二日に起きた日航ジャンボ機事故だった。

"死闘"が繰り広げられた三二分間ものダッチロール

昭和六〇年八月一二日、乗員・乗客合わせて五二四人が乗った、日本航空の大阪行き123便ジャンボ機を異常事態が襲ったのは、羽田空港を離陸してから一二分後の午後六時二四分。相模湾上空を飛んでいる時だった。

"ドーン"という衝撃音を機体の後部に感じた高浜雅己機長(四九)は、とっさに緊急信号「スクォーク77」を発した。

しかし、約三二分間にわたって機長らが壮絶な戦いを繰り広げることになるボーイング747型機の命運は、すでにこの時点でつきていたのである。

衝撃音の直後、高浜機長は東京航空交通管制部に羽田への帰還を要求するが、すでに同機は、後に彼が「ナウ・アンコントロール(現在、操縦不能)」と繰り返す、何の操作も受けつけない"二五〇トンの金属の塊"と化していた。

「ハイドロ(油圧系統)全部だめ」と高浜機長が叫んだ六時二六分には、123便は8の字を描くように揺れるダッチロールにおちいり、富士山上空をかすめて秩父山系へと迷走し始める。

六時四六分、高度警報音が鳴り響く中、エンジンパワーだけで機首の方向を変えようと必死に試みるコックピットで、"豪胆"で通る高浜機長が「だめかもわからんね」とつぶやく。この頃、最初の衝撃

▶8月13日午前10時54分、散乱した機体の下から、奇跡的に生存している川上慶子さんが発見された(写真中央)。 朝日新聞社

◎表紙 生存が確認された川上慶子さんは、自衛隊員に抱きかかえられ、ヘリコプターで救助された。 産経新聞社

音で酸素マスクが下りていた客室では、「赤ちゃんは抱いて。ベルトはしてますか」と、スチュワーデスたちが気丈に注意してまわっていた。

六時四七分に「山にぶつかるぞ」、五五分には「うーうー、プルアップ（引き起こせ）」と叫ぶ高浜機長。五六分に接触音。続いて二回目の激突音——。

これが、後に発見される同機のボイス・レコーダーがとらえていた、墜落前のコックピット内の様子だった。

東京航空交通管制部が「日航機不明」の一報を自衛隊や海上保安庁に伝えた六時五四分頃、東京のホテルで開かれていた日航関連のパーティーで一斉に出席者のポケベルが鳴る。高木養根社長（七二）をはじめ重役たちが、社員から「123便が消えました」と耳打ちされた一五分後には、出席者の半分が出口に殺到していたという。

翌一三日午前四時頃には、自衛隊の救難ヘリが群馬県の御巣鷹（標高一五六五メートル）に激突した123便の残骸を確認した。機体は原形をとどめないまでに破壊されていたが午前一一時頃、落合由美（二六）、川上慶子（一二）、吉崎博子（三四）・美紀子（八）母子の四人の生存者が奇跡的に発見される。

犠牲者は計五二〇人——単独機の事故としては航空史上最大の規模だった。

▲10月24日、東京・日比谷公会堂で、遺族ら約1400人が参列して、東京地区追悼慰霊祭がいとなまれた。115遺族の喪主が一輪ずつ白菊を祭壇にそなえ、肉親の冥福を祈った。 共同通信社

本当に隔壁の修理ミスか 封印された構造への疑念

山中から遺体で収容されたのは、一家の稼ぎ手二五四人、主婦五八人、学生七二人、幼児二三人など。ハウス食品工業社長の浦上郁夫（四八）、阪神タイガース球団社長の中埜肇（六三）、歌手の坂本九（四三）ら著名人も含まれていた。

事故発生から三日間に、現場近くの藤岡に駆けつけた遺族は約三〇〇〇人。派遣された日航社員は一一〇〇人にのぼった。遺体が安置された体育館からは、号泣やなじり声が聞こえてくる。その後、さまざまな苦悩を味わうことになる遺族たちの最初の苦しみだった。

この事故が衝撃を与えたのは、〝最も安全な飛行機〟と言われたジャンボジェット機の神話を打ち砕いたからだ。

「ボーイング747型は、一部が壊れても構造全体に波及しないフェイルセーフの設計方針で作られていました。ところが事故機は、離陸後に後部の垂直尾翼と圧力隔壁が破損し、操作機能を完全に失っていた。もし構造の欠陥によるものであれば、世界を飛ぶ六〇〇機への疑念が生まれてくる。それだけに、事故は航空関係者にとって衝撃だったのです」

と、日航の現役整備員は語る。

こうした懸念をよそに、事故直後に始まった調査で注目されたのは、同機が七年前に起こした「尻もち事故」だった。

事実、〝御巣鷹の悲劇〟から二五日後の九月七日に、ボーイング社は「（同機が尻もち事故を起こした際）隔壁継ぎ板を不適当に修理した」と、ミスを認める声明を発表。事故調査委員会も、昭和六二年に「修理ミスによる隔壁破壊が主因」と結論づけた。747型機の構造自体への疑念は——異論がくすぶり続けているにもかかわらず——封印されたのだ。

その一方で、「この惨事は一〇以上の要因が連鎖して起きた」と指摘するのが、航空評論家の関川栄一郎氏だ。

「メーカーの修理に立ち会わず、隔壁の異常も見逃していた日航の整備体制もそのひとつ。この事故には一五近い要因が重なったのですが、それをつなぐ役割をはたしたのは〝天下のボーイングや日航〟という気のゆるみだったと言えます」

当時の日航は、さまざまなトラブルや、死者が出る事故も相次いでいた。それだけに、この惨事によって、〝利益第一主義〟の運航体制や整備体制など社内体制への批判が噴出。同年一二月には首脳人事が刷新されたのである。

「事故後は、隔壁のチェックなど整備体制は格段に向上した」と現役整備員は話す。しかし、規制緩和などによって航空会社が一層熾烈な競争を繰り広げている現在では、「事故の記憶が風化し、昔に〝逆戻り〟した」という指摘は根強い。

大勢の運命を狂わせ、各界に波紋を投げかけた日航ジャンボ機事故から一三年——ちなみに、奇跡的に生還した四人の中で、日航パーサーだった落合由美さんは平成三年まで日航につとめ続け、事故で両親と妹を亡くした川上慶子さんは看護婦として成長、平成七年の阪神・淡路大震災では被災者の看護に活躍した。

▲群馬県藤岡市立東中学校体育館で、収容された遺体の検視を待つ家族。言葉も少なく、ひたすら待ち続けていた。 朝日新聞社

32分間の「ダッチロール」の後に
犠牲者520人、航空史上最悪の事故！

日航ジャンボ〝御巣鷹の悲劇〟

発見された5通の遺書

●大阪商船三井船舶神戸支店長
河口博次さん(52)

「マリコ　津慶　知代子　どうか仲良く　がんばって　ママをたすけて下さい　パパは本当に残念だ　きっと助かるまい　原因は分らない　今5分たった　もう飛行機には乗りたくない　どうか神様　たすけて下さい　きのうみんなと　食事したのは　最后とは　何か機内で　爆発したような形で　煙が出て　降下しだした　どこえどうなるのか　津慶しっかり　た（の）んだぞ　ママ　こんな事になるとは残念だ　さようなら　子供達のことをよろしくたのむ　今6時半だ　飛行機は　まわりながら　急速に降下中だ　本当に今迄は幸せな人生だった　と感謝している」

●チッソ株式会社ポリプロ繊維部主任
谷口正勝さん(40)

「まちこ　子供よろしく　大阪みのお　谷口正勝　6・30」

●阪急電鉄・松本圭市さん(29)

「知子　哲也（両親を）たのむ　圭市　突然ドカンといってマスクがおりた　ドカンといて降下はじめる　しっかり生きろ　哲也　立派になれ」

●元日航職員・白井まり子さん(26)

「恐い　恐い　恐い　助けて　気持ちが悪い　死にたくない　まり子」

●富士電機サービス課・村上良平さん(43)

「機体が大きく左右に揺れている　18・30　急に降下中　水平ヒコーしている　日本航空18・00大阪行事故　死ぬかもしれない　村上良平　みんな元気でくらして下さい　さようなら　須美子　みき　恭子　賢太郎　18・45　機体は水平で安定して　酸素が少ない気分が悪るい　機内よりがんばろうの声がする　機体がどうなったのかわからない　18・46　着陸が心配だ　スチュワーデスは冷せいだ」

▶この事故で亡くなった歌手・坂本九の告別式で、謝辞を述べる夫人の柏木由紀子（写真中央）。
共同通信社

なぜ血友病患者二人の死は〝抹殺〟された
厚生省・薬剤メーカー・医師の癒着と犯罪

エイズ、ついに日本上陸！

〝対岸の火事〟が日本に飛び火した。昭和六〇年三月二二日、厚生省のエイズ（後天性免疫不全症候群）調査検討委員会は、アメリカ在住の独身男性アーチストを日本人のエイズ患者第一号に認定した。しかしその後、輸入血液製剤によるエイズへの感染事実が露呈。厚生省の「薬害隠し」が浮きぼりになっていった。

現代の「黒死病」がついに日本へ上陸

「日本にも真性エイズ　二患者、既に死亡　輸入血液製剤で感染」

昭和六〇年三月二一日、「朝日新聞」朝刊は、一面トップで大々的にエイズの日本上陸を報じた。

それは、アメリカを中心に多発しているエイズ患者が日本でも発生、すでに死者二人が出たことを、厚生省・エイズ研究班の初代班長だった安部英帝京大学教授（医学部長＝内科）が、近く医学専門誌「代謝」に公表するというものであった。そしてその論文は昭和六〇年四月号（二二巻五号）に発表された。

安部教授によれば、死亡したのは、いずれも関東地方に住む血友病の男性で、昭和五八年七月に死亡したDさん（当時・四八歳）と五九年一一月に死亡したQさん（当時・六二歳）であった。

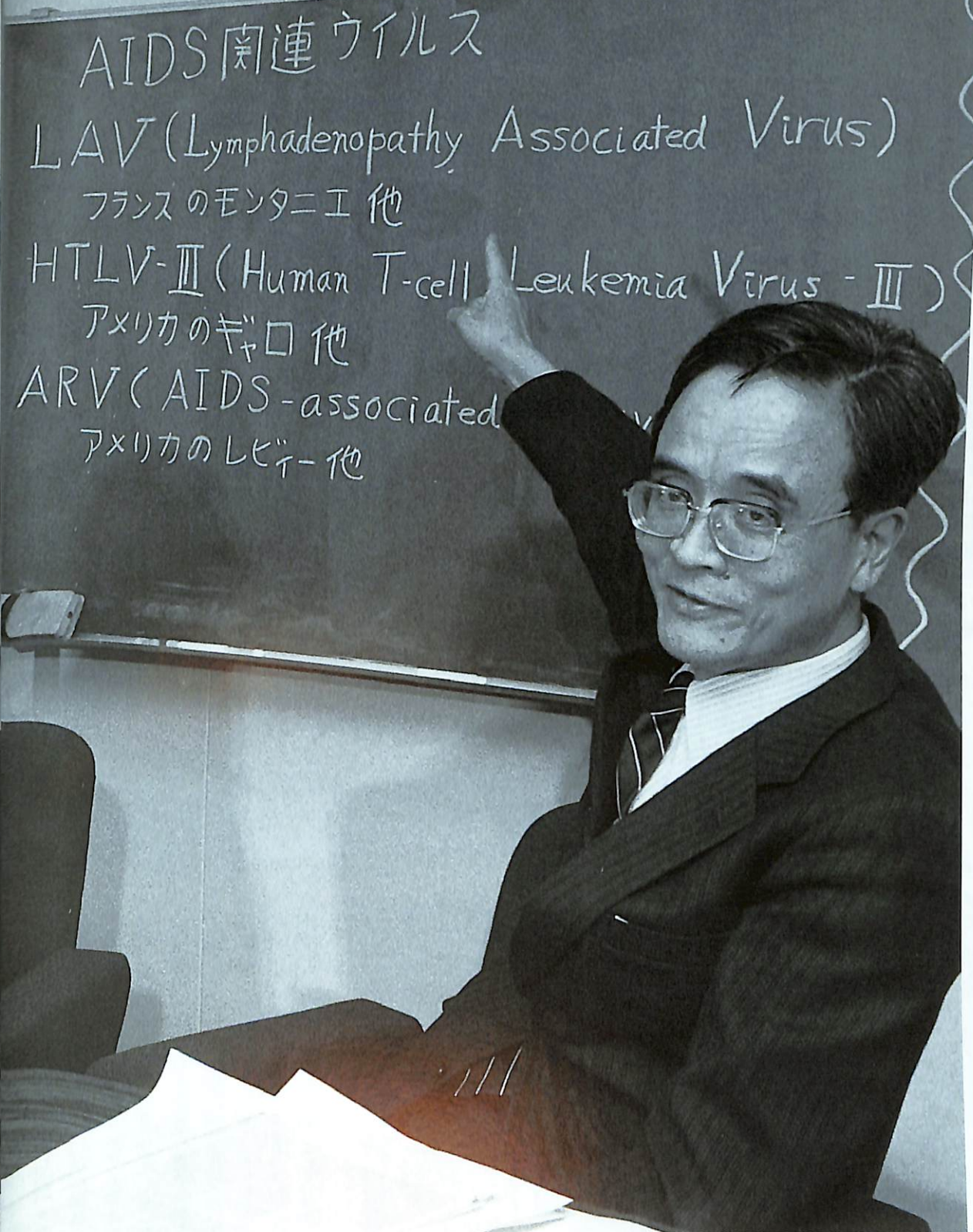
日本におけるエイズの実態調査のため、厚生省のエイズ研究班が発足したのは、昭和五八年六月。班長だった安部教授は、臨床状況から二人がエイズとの確信を持ち、五九年秋、二人の血液を米国立衛生研究所に送り確認を求めていた。その結果、二人はエイズウイルスに感染していたことが判明したのである。しかも同教授は、この時、同時に帝京大学病院などの血友病患者五〇人の血液をも送り、うち二三人（四六パーセント）がウイルスに感染しているという回答も受け取っていた。

しかし、奇妙なことが起こった。安部教授の発表から二日後の三月二三日、今度は「読売新聞」などが「エイズ初の日本人患者　米国在住の男性　二次感染恐れなし」と、先に死亡した二人とはまったく異なるケースを報じたのである。

この〝エイズ患者第一号〟を認定したのは、厚生省エイズ調査検討委員会（委員長・塩川優一順天堂大学名誉教授）。第一号患者と認定されたCさん（当時・三六歳）はアメリカ在住のアーチスト。すでに「エイズ禍」が広がるアメリカで数多くの男性と性交渉を続けていたが、五九年一二月、日本に一時帰国した間に診察を受け、エイズ患者と認定されたというものだった。また、この調査検討委員会では、先に安部教授が診断したDさんとQさんの二件の症例についても検討したが、資料不足で結論は出せなかったと言う。つまり厚生省では、エイズは男性間の性交渉によって感染する、ということを強調しているのだ。

しかし、この安部教授と厚生省のくい違いは何に起因しているのだろうか。

その後「エイズ問題」の暗部を追い続けた、ジャーナリストの櫻井よしこさんは次のように語る。

「Cさんを患者第一号と認定した厚生省の発表は、薬務行政の責任を隠蔽するためのものでした。すでに昭和五九年末には、島根大学の栗村敬元教授が、日本のエイズが血友病患者に投与され続けた非加熱血液製剤が原因の薬害であることを、厚生省にも伝えていたのです。非加熱製剤の使用を即刻禁止しなかったことから世間の目をそらさせ、性感染の恐怖をあおるための画策だったと断言できます」

▶昭和60年3月22日、厚生省のエイズ調査検討委員会が、日本人初のエイズ患者を認定。写真中央が委員長の塩川優一順天堂大学名誉教授。
共同通信社

共同通信社
▲エイズ感染防止のためのコンドーム使用奨励キャンペーン。

▲エイズ研究班会議で挨拶する、座長の帝京大学医学部長・安部英（写真中央）。安部は加熱製剤の使用を意図的に遅らせたとして、平成8年8月に逮捕される。 共同通信社

患者無視の厚生省"薬害隠し"にメス

エイズは、ＨＩＶ（ヒト免疫不全ウイルス）を病原体とし、発症した患者の七五％が死亡すると言われる現代の「黒死病」である。

エイズが最初に報告されたのは、昭和五六年の七月、カリフォルニア大学医学部でのことであった。その後、エイズ患者は急速に広がり、昭和六一年九月には、世界の患者数が三万一六四六人に達し、昭和六三年には、アメリカの九万二八〇四人を筆頭に、一四三ヵ国に伝播、その総計は一三万二九七六人にもおよんでいた（ＷＨＯ報告）。

日本のエイズ患者もふえ続けた。厚生省が第一号患者を認定してからわずか半年間に、一一人がエイズ患者と認定され、その内訳は、血友病患者が五人、同性愛者が六人というものであった。

厚生省は、昭和六〇年七月、血友病患者の感染源とされた非加熱製剤をミドリ十字など各製薬会社の自主回収にまかせる一方、加熱製剤を承認したが、時をすでに失していた。

案の定、薬害は深まっていった。平成八年二月一六日、川田龍平氏らエイズに感染した血友病患者の抗議に対し、菅直人厚生大臣（当時）が深々と頭を下げ、厚生省の内部資料が表に出ると、薬害隠しの事実が明らかになっていった。そしてついにこの年八月二九日、帝京大学副学長職にあった安部英が逮捕され、続いて九月一九日にはミドリ十字歴代社長の三人、一〇月四日には厚生省元生物製剤課長の松村明仁が、いずれも業務上過失致死傷の罪で起訴された。

起訴事実によれば、この三者は輸入非加熱製剤の危険性を十分知りながら、安全な国産のクリオ製剤への転換をはからず、加熱製剤製造で技術的な遅れをとる日本の製薬メーカーの足並みがそろうまで、加熱製剤の使用を意図的に遅らせたというものである。

とりわけ安部は血友病患者に対して「エイズは心配ない」と嘘をつき通し、松村は安部の新聞公表に際し、「厚生省に事前相談もなく、何を考えているんだ」と口走り、それぞれの思惑にすれ違いを見せた。しかしそれは、いずれも患者無視という点で同根であった。

平成九年一〇月現在、わが国における各医療機関からのエイズ患者の届出は一七〇五人、感染者は四二三二人。感染者のうち、凝固血液製剤による人が一八〇八人、異性間の性交渉による人が一一八五人、同性愛者は五五〇人、これまでの死亡者は九八三人にもおよんでいる。

共同通信社

▲平成8年2月7日、厚生省などとの和解協議後、記者会見する東京ＨＩＶ訴訟の原告団。右端が川田龍平氏。

女たちの肖像

"上野千鶴子現象"起こるニュータイプの女性論でフェミニズムの旗手に！

稲葉真弓

毎日新聞社

▲フェミニズムの立場を堅持。

昭和四五年（一九七〇）に日本にリブ運動が上陸して一五年を経たが、「リブ」は一九八〇年代になると「フェミニズム」なる言葉におき替えられ、女の生き方、女性学がさかんに論じられるようになった。

その先駆けとなったのが、平安女学院短大助教授で社会学者の上野千鶴子（三六）で、彼女はこの年一月、「産む性・産まない性」（『看護学生』第三二巻一一号）を発表したのを皮切りに、女性誌や総合雑誌に次々と論文を発表。彼女はそれらの論文の中で、子を産むことと女の幸福もしくは不幸の関係性、母性という言葉についてまわる落とし穴、あるいは、職業か家庭かという二つの選択の間で引き裂かれている現代の女性たちの問題を提起、フェミニズムの旗手として注目をあびた。

これらの論文は翌昭和六一年『女という快楽』という本にまとめられ、一一刷を重ねたが、そもそも"上野千鶴子現象"と言っていい旋風が巻き起こったのは昭和五七年に出版された『セクシィ・ギャルの大研究』で"ぶりっ子"たちの生態を記号論的にとらえ、ニュータイプの女性論として論壇の話題をさらってからである。

以後の彼女は、男と女の関係の解放をアグレッシブに論じる一方、昭和六三年の「アグネス論争」では子連れ出勤で批判をあびたアグネス・チャンをあえて擁護、これまでフェミニズムに無縁だった人々の関心も引きつけた。さらに、女性性器を表す四文字を巻頭にちりばめたエッセイ『女遊び』（六三年）や、パンティにまつわる社会風俗を論じた『スカートの下の劇場』（平成元年）はたちまち話題の書となり、中年男性に、より多く読まれると言う珍現象をもたらした。"上野千鶴子ブーム"について、彼女自身は「時代が私に追いついた」と語っているが、ラディカルで複眼的な戦略が功を奏したのである。

上野千鶴子は、昭和二三年富山県生まれ。父親は開業医。兄と弟の間にはさまれて育った彼女は、子ども心に親の期待が兄と弟にあることをかぎとったと言う。抜群に頭のいい少女は京都大学に入学、大学院も含めるとここで一二年間をすごした。女性問題に目覚めたのは二九歳の時、「日本女性学研究会」に出会ってからである。この出発から一貫して女性論のエキスパートとして活躍してきたが、平成五年東京大学文学部の教授に迎えられた後も、しなやかで複眼的な「知」の論陣を張り続けている。

勝者・敗者

左足首の故障にもめげず新日鉄釜石を「七連覇」へ松尾雄治、最後の爆発！

阿部珠樹

松尾雄治（三〇）の左足は、本人の言葉を借りれば、「ロースハムのように」腫れ上がっていた。以前から傷めていた左足首の化膿性関節炎が、シーズン最後の日本選手権を前に悪化したのだ。

ラグビーの日本一を決める試合。松尾は社会人の新日鉄釜石を率いるプレーイングマネジャーである。相手は平尾誠二（二二）、大八木淳史（二三）など学生のレベルを超えた逸材をそろえる同志社大学。楽な試合ではない。それに、ただ日本一を決めるだけの試合ではなかった。この試合を最後に、松尾は現役を退くことを決めていた。釜石は前年まで六年連続日本一を続けてきている。七連覇のかかる、現役最後の試合。そこに十分な状態で出られないなんて。

さんざん迷ったすえ、松尾は足にメスを入れることにした。手術をして試合に出られる保証はなかったが、何もしないよりはましと考えたからだ。試合当日、一月一五日には、なんとか走れる程度には回復していた。痛み止めを打って試合にのぞむ。

前半、釜石は同志社に押しこまれた。ＦＷ陣は踏んばるものの、攻撃を組み立てる松尾にいつもの冴えがない。キックは正確さを欠き、ボールを持っても相手を切り裂くようなステップが踏めない。結局、前半は一二対一三と一点リードを許してしまう。

しかし、後半に入ると、釜石は、六連覇の底力を徐々に見せ始める。開始四分にＰＧで逆転した後、一九分、ついに松尾が爆発する。全盛時を思わせる華麗なステップで同志社の守りを切り裂き、味方のトライにつなげたのだ。これで決まりだった。釜石はさらに二本のトライを決め、同志社を突き放し、三一対一七で七連覇を決めた。

仲間たちに肩車された松尾は、陽気にＶサインを出した。明るさが身上の男である。「今朝は六時に目がさめた。今日で終わりと思うと寂しかったが、今は幸せだ」

足の怪我にはまったく触れず、ラグビー界最大のスターは、華やかにグラウンドを後にした。

▶試合後、チームメートにかつがれる松尾雄治選手。松尾はこの試合を最後に、現役を引退した。

時事通信社

ロイター／サンテレフォト

共同通信社

▲宇宙の軍拡激化（1月24日）米国が、ソ連の通信をキャッチできる偵察衛星を積んだスペースシャトル「ディスカバリー」を打ち上げた。5人の乗員は全員が軍人。中央がマティングレイ海軍准将、左端は初の日系人乗組員オニヅカ空軍少佐。

▲山口組組長射殺（1月26日）4代目組長・竹中正久（51）ら3人が、吹田市で狙撃され死亡。前組長・田岡一雄の死後、跡目相続で対立する一和会系組員の犯行だった。写真は31日の田岡邸での葬儀。

▼米長邦雄、史上3人目の4冠王（1月8日）東京・千駄ケ谷の将棋会館で行われた十段戦で、中原誠を4勝3敗で破り、王将・棋聖・棋王に次ぎ十段位も獲得。将棋界の頂点に立った。

朝日新聞社

▼両国国技館完成（1月9日）東京都墨田区に、蔵前国技館に代わる新しい相撲の殿堂が誕生。雨水利用システムや、土俵を床下におさめ、ほかの催しに利用する工夫も。

読売新聞社

▲吹雪の名神で40台激突（1月17日）滋賀県甲良町の上り線で、スリップしたトラックや乗用車が次々に衝突、9人が重軽傷を負った。前年2月にも同様の事故が起きていた。

▶「どくいり　きけん　たべたら　しぬで」（1月16日）読売新聞大阪本社玄関前で青酸ソーダ入り菓子詰め合わせを発見。前年来、「グリコ・森永事件」で世間を騒がす「かい人21面相」の手紙があった。

読売新聞社

読売新聞社

昭和60年 1月

1（火）●雁屋哲原作のマンガ『美味しんぼ』第一巻刊行。
2（水）●「紅白歌合戦」の関東地区視聴率は七八・一％で、過去一〇年来の最高とビデオリサーチ。
3（木）●朝日新聞社の国民意識調査で初めて「一番大切なもの」の第一位が「家族」となる。
4（金）●環境庁、「名水百選」第一次選定三一件を発表。
5（土）●飯山市の信濃平スキー場で雪崩。一人死亡。
6（日）●アリヨシ・ハワイ州知事、本年を日本人移民百年の年とすると宣言。
7（月）●山梨県甲陵高校が三年生の予備校留学コース設置と新聞に（11日、文部省の指導で撤回）。
8（火）●日本初の人工惑星「さきがけ」打ち上げ。
9（水）●北九州市にモノレール小倉線が開業。
10（木）●橋本聖子、全日本スピードスケート選手権で史上初の三年連続四種目制覇。
11（金）●医療費本人負担で富山の置き薬人気と新聞に。
12（土）●警視庁、「キン肉マン」人形偽造で二社を捜索。
13（日）●中学生の伊藤みどり、全日本フィギュア優勝。
14（月）●大蔵省、前年の日本の対米貿易黒字額は史上最高の三三一億一〇〇〇万ドルと発表。
15（火）●横綱北の湖、引退。最多勝など一位記録一八。
16（水）●中国が貿易相手国の三位に浮上と貿易振興会。
17（木）●東京都の環状七号線、計画以来五八年で全通。
18（金）●韓国の反体制派が新韓民主党結成（2月12日の総選挙で野党第一党に）。
19（土）●東京都中野区、痴呆性老人を対象に「デイ・ケア」制度発足を決定。
20（日）●マニラの国際マラソンで最年少参加の小学二年の日本人少女が四時間四五分で完走。
21（月）●ソニー、カメラ一体型八ミリビデオを発売。
22（火）●KDD、VAN事業への資本参加を決定。
23（水）●警視庁、原野商法の悪質不動産業者八人逮捕。
24（木）●青森県七戸中で、泥酔した生徒が教師に暴行（30日死亡。校内暴力で教員に初の死者）。
25（金）●岐阜県の林業者ら、天然記念物ニホンカモシカによる食害の損害賠償を国に求め提訴。
26（土）●山口組の竹中組長ら三人、射殺（抗争激化）。
27（日）●台湾で日本人団体客の観光バスが谷に転落。
28（月）●長野市でスキーバスがダム転落。二五人死亡。
29（火）●学校給食の調理員に指曲がり症多発と自治労。
30（水）●税や社会保障費などが国民所得に占める割合（国民負担率）が戦後最高の三六％と大蔵省。
31（木）●大阪地裁、MKタクシーの値下げ申請却下処分取り消し請求訴訟でタクシー会社勝訴判決。

ニュース・ファイル 1985

フォト＋日録で再現する365日

マラソンの宗兄弟が北京で同タイムのワンツーフィニッシュ。プロ野球では阪神が初の日本一となり、関西は「トラ・フィーバー」に沸いた。日本初の宇宙飛行士候補三人が選ばれ、科学万博も大成功。そんな中、まがい商法や投資詐欺が横行、財テクブームに水をさした。

◀奈良・斑鳩の藤ノ木古墳発掘（9月25日）橿原考古学研究所が、直径約48メートルの6世紀後半の円墳内横穴式石室から、くり抜き式家形石棺を発見。後に遺骨2体と、金銅製の装飾馬具など副葬品多数が出土した。

共同通信社

◀井筒兄弟、そろって幕内(2月25日)春場所新番付で逆鉾(右)の弟・寺尾(左)が入幕、谷風(横綱)・達ケ関以来194年ぶりの快挙となった。上は、父親の井筒親方。

▲パチスロ追放(2月6日)警察庁が流行のパチンコ型スロットマシンに対し、出玉をふやすなど客の射幸心をあおるものが多いと判断。9月末までの撤去を通達した。

◀江夏豊(36)大リーグ挑戦(2月)シーズン401奪三振の記録と「優勝請負人」の異名を持つ男が、最後の夢をブリュワーズに求め、オープン戦で好投したが不採用となった。

▲「浪速のロッキー」重体(2月5日)世界Jウェルター級9位・赤井英和(25)がKO負け後、脳出血で手術。ボクシング協会は、これを機に選手の脳断層撮影を実施した。

◀新潟県青海町で土砂崩れ(2月15日)「崩壊危険地区」指定の崖が、雪解けでゆるみ、7棟が全壊、10人が死亡した。コンクリートの土留めが、かえって被害を増した。

昭和60年2月

1(金)●国鉄、赤字対策として全国初の直営コーヒースタンド「ベル」を上野駅に開店。
2(土)●三十三間堂南大門にクレーン車衝突、破損。
3(日)●商社がベンチャービジネス育成に力と新聞に。
4(月)●札幌高裁、梅田事件(昭和25年)の再審決定。
5(火)●「浪速のロッキー」赤井英和、KOされ危篤。
6(水)●警察庁、パチスロを九月末までに撤去と通達。
7(木)●竹下登ら田中派議員四〇人、「創政会」結成。
8(金)●電電公社、日本縦貫光ケーブル伝送路を開設。
●松下電器、厚さ九・九ﾁﾝのテレビ開発と発表。
9(土)●住都公団、犬猫飼育の入居者に退去請求決定。
10(日)●京都で日米加とECの四極通商会議開催。
11(月)●中曽根首相、「建国記念の日を祝う会」主催の式典に首相として初めて出席。
12(火)●和光大講師ら、脳死者からの臓器摘出・移植を行った筑波大教授らを殺人罪で告発。
13(水)●新風営法施行。警察の監督権限を強化。
14(木)●東芝、次世代超LSI・1ﾒｶﾞDRAMのサンプルを今夏から出荷と発表。
15(金)●飢餓のエチオピアで、英・西独・ソ連などが食糧投下作戦を本格開始。
●新潟県青海町で大規模土砂崩れ。一〇人死亡。
16(土)●厚生省、薬価基準改正決定。平均六ﾊﾟｰｾﾝﾄ下げ。
17(日)●健保組合の七割で本人負担分払い戻しと判明。
18(月)●ペルシャ湾で日本人二五人乗り組みのクウェート船籍貨物船が被弾。二人死傷。
19(火)●硫黄島で遺族らと米海兵隊が合同慰霊祭開催。
20(水)●ミノルタ、自動焦点一眼レフカメラ「α-7000」を発売。
21(木)●この一〇年、株価上昇の上位は薬品とハイテクが独占と、証券広報センター。
22(金)●文化財保護審、沖縄生息の日本最大の甲虫ヤンバルテナガコガネの天然記念物指定を答申。
23(土)●川崎市、指紋押捺拒否の外国人を告発しないと決定(5月、市の告発なく初めて韓国人逮捕)。
24(日)●高知市の競輪場で暴力団抗争。三人死傷。
25(月)●大相撲新番付発表。寺尾が入幕し、逆鉾と兄弟同時幕内は一九四年ぶり。
26(火)●高校生の四五ﾊﾟｰｾﾝﾄが中退考えたと意識調査発表。
●カムチャツカ沖で八戸市の漁船が転覆。二〇人死亡・行方不明。
27(水)●田中元首相、脳梗塞で入院(長期療養生活へ)。
28(木)●東京都、大気汚染対策のためトラックの走行量を一割減らす目標を設定。

▲全日本女子サッカー選手権大会開催(3月28日)全国から16チームが参加、東京・西が丘サッカー場で4日間の熱戦が展開された。過去13試合失点0の清水第8スポーツクラブが、無失点記録をさらに17に伸ばし、5連覇を達成した。

▼トンネル工事で住宅地陥没(3月28日)東大阪生駒電鉄の工事中に、異常出水と土砂崩れがあり、しばらくして真上の住居の裏庭直径30メートルほどが25メートル落下。家屋の一部も倒壊した。

▲サラリーマン税金訴訟、上告棄却(3月27日)必要経費を商店主などと同等に認めないのは違憲、とした元同志社大教授・故大島正の訴えを、最高裁は「給与所得控除の中に含む」として退けた。

▲キャバクラ繁盛(3月)風俗店を規制する新風営法が発効した2月13日以降、急にふえ始めた。サービスはクラブ並み、料金はキャバレー並み。写真は20日撮影の東京・新宿の「ゴンドラ」。料金は1万円ほどだった。

▶金属バットに「適合品シール」(3月19日)安全性と「飛びすぎるバット」の問題解消のため、日本高校野球連盟が6社80銘柄を発表、3月26日開幕の春の選抜高校野球大会から適用した。

▶「科学万博」開催(3月16日)茨城県の筑波研究学園都市で9月16日まで行われ、3D映像、ロボット演奏などのパビリオンが1~2時間待ちの人気。期間中に2033万人が訪れた。

◀新幹線・上野駅開業(3月14日)遅れていた東北・上越新幹線の上野―大宮間が開通、地下4階の専用ホームも完成。これで「北の玄関」が復権した。

昭和60年3月

1(金)●相互銀行など、市場金利連動型預金(MMC)の取り扱いを開始。
2(土)●摂津市、自治体初のパート退職金条例案可決。
3(日)●佐々木七恵、引退レースの名古屋国際女子マラソンに自己最高記録で優勝。
4(月)●森進一ら歌手六人が武道館でチャリティーショー「アフリカの子供に水とミルクを」開催。
5(火)●郵政省、千葉・札幌など二〇都市を高度情報化社会のモデルになる「テレトピア」に指定。
6(水)●韓国で金大中、金泳三らの政治活動規制解除。
7(木)●高野連、「飛ぶ金属バット」使用禁止を決定。
8(金)●CD普及でレコード針企業に倒産もと新聞に。
9(土)●大分県九重町で大型クレーン車と観光バスが衝突。二人死亡、三二人重軽傷。
10(日)●青函トンネル、着工以来二一年で貫通。
11(月)●ゴルバチョフ、ソ連共産党書記長に選出。
●田無市で自治体初の男性職員の育児時間承認。
12(火)●米ソ、包括軍縮交渉第一回会合を開始。
13(水)●連続企業爆破事件の宇賀神寿一に懲役一八年。
14(木)●東北・上越新幹線の上野―大宮間が開業。
15(金)●フィリピン紙に「日本農家への花嫁」募集広告が掲載され現地に反発の声、と新聞に。
16(土)●「科学万博―つくば'85」開幕(~9月16日)。
17(日)●入国者数が初めて二〇〇万人突破と法務省。
18(月)●震度測定を体感から機械測定に転換と気象庁。
19(火)●給与所得者の三割強が住宅ローン返済中、と総務庁家計調査。
20(水)●平和相銀、不良貸付問題でオーナーを解任。
21(木)●南アで人種差別めぐり暴動、黒人一九人射殺。
22(金)●厚生省、初の日本人エイズ患者を認定。
●黄海で訓練中の中国海軍魚雷艇内で亡命めぐり乗組員同士が銃撃戦、六人死亡。
23(土)●「イッキ飲み」での急性アルコール中毒が急増、と新聞に。
24(日)●三菱銀行横浜支店に元警官らがピストル強盗。
25(月)●国鉄、オレンジカードの発売を開始。
26(火)●日産、米テネシー州での小型車生産を開始。
27(水)●中央自動車道、一八年ぶりに本線工事完了。
28(木)●警察庁、中・高校卒業式への校内警備六八一校、校外一〇三六校と発表。文部省調査の八倍。
29(金)●中央薬事審、東レ申請のβ型インターフェロンの製造を制癌剤として初めて承認。
30(土)●高額医療件数が五年で一・八倍と判明。
31(日)●鹿児島県で釣り船転覆。二七人死亡・不明。

日録20世紀 1985 4〜5月

▲**足を失った盲導犬に対人保険金（4月15日）**突っこんできた車に飛びかかって主人を守ろうとした「サーブ」（写真）を盲人の身体の一部とする主張が、名古屋簡裁の調停で認められた。事故から3年ぶりの朗報だった。

共同通信社

読売新聞社

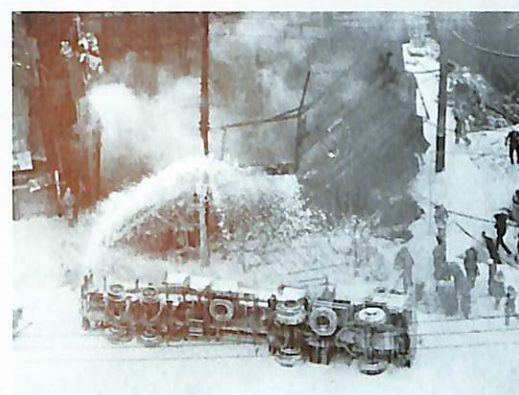
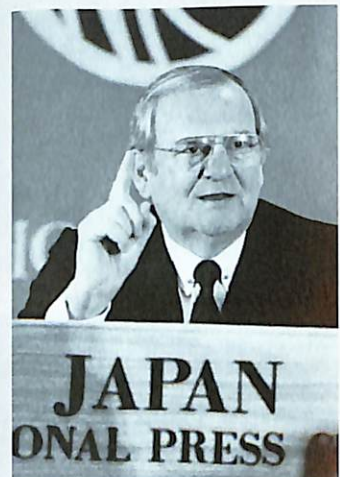
▼**タンクローリー炎上（5月6日）**東京都目黒区の環状7号線野沢交差点で、スリップして横転。満載のガソリンなどが流出して爆発・炎上し、付近の住宅6棟が類焼した。同種の車は都内に約3000台あり、前年も流出事故が4件あった。

▲**政府、商業捕鯨撤退を正式決定（4月4日）**国際捕鯨委員会（IWC）への異議申し立てを撤回、昭和63年3月で幕となった。写真は7日、東京・大井埠頭に帰港した捕鯨母船「第3日新丸」甲板で、怒りの声を上げる船員。

毎日新聞社

▲**宮本顕治宅盗聴事件に慰謝料命令（4月22日）**東京地裁が、創価学会元副会長らが組織的に共産党委員長の動向をさぐったと認定、実行者・山崎正友の独断ではないとした。被告側は控訴したが、二審で上告を断念した。

▼**12代目市川団十郎誕生（4月1日）**市川海老蔵（38）が20年ぶりに名跡を襲名。東京・銀座の歌舞伎座で6月27日まで華やかに披露公演が行われ、連日満員の盛況となった。写真は「勧進帳」を演ずる団十郎。荒事を得意とした。

報知新聞社

共同通信社

▲**アイアコッカ来日（4月13日）**米自動車メーカー、クライスラー社会長で、同社を再建した男として回顧録がベストセラーになっていた。17日の記者会見では「小型車戦争」生き残り策に、三菱自工との提携をあげた。

共同通信社

昭和60年 4月

- **1**（月）●日本電信電話・日本たばこ産業、発足。●放送大学、授業開始。一期生一万七〇三八人。
- **2**（火）●青森県の米軍三沢基地にF16戦闘機二機を初配備。基地攻撃が主任務でサハリンをにらむ。
- **3**（水）●書道家・町春草、仏の芸術文化勲章を受章。
- **4**（木）●政府、商業捕鯨からの撤退を正式に決定。
- **5**（金）●千歳市に完全ロボット化の太陽電池工場竣工。
- **6**（土）●高卒女子の初任給が初めて一〇万円台と判明。
- **7**（日）●ゴルバチョフ、中距離核ミサイル凍結を表明。
- **8**（月）●日本原研、トカマク型核融合実験装置「JT-60」でプラズマ生成に成功。
- **9**（火）●中曽根首相、テレビで輸入促進のため一人一〇〇ドルの外国製品購入を呼びかける。
- **10**（水）●国税庁、『お酒白書』。焼酎甲類の売り上げが戦後最高、ウイスキー二割減など。
- **11**（木）●奈良県明日香村で推古天皇の豊浦宮跡を発掘。●松坂屋取締役会、オーナー社長の会長棚上げ人事を抜き打ち決定。鈴木会長を社長に。
- **12**（金）●名古屋高裁、新幹線騒音訴訟で減速請求棄却。●九六％の企業がパソコン導入と調査会社発表。
- **13**（土）●近畿の宗教法人六四〇が所得隠しと国税局。
- **14**（日）●特産品などで地域活性化必要と『過疎白書』。
- **15**（月）●南アで人種間交婚禁止法・背徳法の廃止発表。
- **16**（火）●雪印乳業、受精卵分割での双子牛出産に成功。
- **17**（水）●環境庁、歴史的町並みなどアメニティ・タウン作りに金沢市など二〇市町村を指定。
- **18**（木）●初の『いじめ白書』発表。前年の自殺者七人。●日本IBM、VANサービスを開始と発表。
- **19**（金）●ジャスコ、初のフリーコールサービス開始。
- **20**（土）●日光で保護団体が鹿密猟の罠を発見・撤去。
- **21**（日）●登校拒否児童のための塾が支援塾ネット結成。
- **22**（月）●男性用口紅や眉墨など在庫切れ続出と新聞に。●東京地裁、宮本顕治共産党委員長宅盗聴事件で創価学会元副会長・北条浩の関与を認定。
- **23**（火）●自動車電話などの新電電独占を撤廃と郵政相。
- **24**（水）●三菱石炭高島礦業所で坑内火災。一一人死亡。
- **25**（木）●村田通産相、週休二日制本格化検討を指示。
- **26**（金）●東大法学部に初の外国人教授、と新聞に。
- **27**（土）●漁網の防汚剤などに使われている有機錫化合物（TBTO）が天然魚にも残留、と環境庁。
- **28**（日）●第一回全日本トライアスロン宮古島大会開催。
- **29**（月）●山下泰裕、全日本柔道九連覇（6月引退表明）。
- **30**（火）●科学万博の不入りでカプセルホテルへのベッド納入業者が売り掛け金回収できず倒産。

証言・あの日この日
西村京太郎（54）

1月11日（金）〈嫌いな言葉の一つに、「事実は小説より奇なり」がある。最近のように、グリコ・森永事件が起きて、怪人21面相が現われたりすると、かならず、この言葉が出てくる。現実がこれだけ先走ってしまうと、小説を書くのが大変でしょうと、同情する編集者もいる。何をいうかと思う〉（西村京太郎「しごとの周辺」）

旅行ミステリーの第一人者・西村京太郎にとって、昭和59年3月18日のグリコ社長拉致に始まり、毒入りチョコによる企業脅迫へと展開していった「グリコ・森永事件」は気になる事件だった。「かい人21面相」を名乗る〝愉快犯〟の登場、警察を揶揄する脅迫文、現金10億円の要求など、「小説より面白い」劇場型犯罪が日本中の注視を集めたからだ。しかし推理小説のプロとしては、それを認めるわけにはいかない。（山崎行太郎）

毎日新聞社

▲**夕張炭鉱でガス爆発（5月17日）**北海道夕張市の三菱石炭鉱業南大夕張礦業所坑内で、突出したガスに引火、作業中の62人が死亡、24人が重軽傷を負った。同礦業所はその後も事故を繰り返し、平成2年、閉山となった。

共同通信社

◀**流氷の海から生還（5月12日）**出漁中の4月23日に遭難した「日東丸」乗組員3人。17日間ゴムボートで漂流の後、サハリン沖でソ連船に救助され、巡視船で稚内港に到着。同僚13人を失っているだけに、記者会見での表情も硬くなりがちだった。

▼**女優・和泉雅子、北極点目前で断念（5月22日）**女性初の踏破に挑んだが、約160キロを残し積雪と氷の割れ目にはばまれた。和泉は37歳。62日間のロマンに同世代主婦らが拍手。平成元年に再挑戦し、ついに成功した。

◀**日本赤軍の岡本公三（37）釈放（5月20日）**イスラエルとPLOが捕虜交換。テルアビブ空港乱射事件で捕まってから13年。写真は、リビアの首都トリポリでの歓迎風景。

ロイター・サンテレフォト

▼**日本貨物航空第1便出発（5月8日）**日航が独占していた国際線貨物輸送に初参入。ICなどの初荷を積み、成田からサンフランシスコに向かった。写真は積みこみ作業。

読売新聞社

共同通信社

昭和60年 5月

- **1**（水）●国民年金法改正公布。基礎年金を導入。
- **2**（木）●ボン・サミット開幕。仏、SDI不参加表明。
- **3**（金）●大田原市の青年、高校時代の同級生の暴行で心身症になったと損害賠償を提訴。
- **4**（土）●福岡県民交響楽団、万里の長城で第九演奏会。
- **5**（日）●零歳児が七九年ぶり一五〇万人割ると総務庁。
- **6**（月）●身延山久遠寺大本堂が完成、落慶法要挙行。
- **7**（火）●電波望遠鏡によりセンチ単位で日本列島の位置測定に成功、と郵政省電波研究所発表。
- **8**（水）●ワイツゼッカー西独大統領、敗戦四〇年演説で独の戦争責任を率直に認める。
- **9**（木）●都市の街路樹が一五年間で三倍、と新聞に。
- **10**（金）●郵政省、個人年金に関する調査結果発表。理想年額一四四万円に対し現実は四五万円。
- **11**（土）●京大病院、血液型不適合妊娠の新治療法発表。
- **12**（日）●第一回ワープロ技能検定試験実施。
- **13**（月）●稲山経団連会長、中曽根首相の輸入品一〇〇ドル購入奨励は無駄づかいを強いるものと批判。
- **14**（火）●外国人の指紋押捺を回転式から平面式に改定。
- **15**（水）●OA機器の端末装置などを操作する女性の三六％に妊娠異常と総評。
- **16**（木）●ソ連、アルコール中毒追放の国家計画を発表。
- **17**（金）●男女雇用機会均等法、成立。●三菱南大夕張礦業所でガス爆発。六二人死亡。
- **18**（土）●新潟県最高齢の女性、家族に迷惑と入水自殺。
- **19**（日）●神戸市立中央市民病院、心臓バンク設立発表。
- **20**（月）●イスラエル、日本赤軍の岡本公三を釈放。
- **21**（火）●ビデオ普及率は二八％と経企庁消費動向調査。
- **22**（水）●北極点到達めざした和泉雅子、目前で断念。
- **23**（木）●海外旅行土産の一位は洋酒と経企庁調査。
- **24**（金）●バングラデシュで巨大サイクロンにより大水害。四万〜五万人が死亡・行方不明。●法務省、韓国へ出国の在日韓国人一二人に対し、指紋押捺拒否を理由に再入国を不許可。
- **25**（土）●小金井カントリー倶楽部、外務省主催ゴルフ大会に女性理由に森山政務次官の参加を拒否。
- **26**（日）●横浜で強盗追走の学生二人が刺され一人死亡。
- **27**（月）●森永製菓、「かい人21面相事件」の影響で三〇億円の赤字決算。
- **28**（火）●南北朝鮮赤十字会談、一二年ぶりに再開。
- **29**（水）●ベルギーでのサッカー欧州カップ決勝の英伊戦で両国の観客が乱闘。四〇人死亡。
- **30**（木）●放置自転車クリーンキャンペーン推進委開催。
- **31**（金）●第一回東京国際映画祭、開幕（〜6月9日）。

読売新聞社

▲**超大型タンカー解体（6月）**高度成長の象徴も今は昔。昭和46年に登場した「日石丸」（約37万トン）が、函館のドックで17億円の鉄屑に。こまわりのきく20万トン級が中心になった。

▼**豊田商事会長・永野一男、殺害（6月18日）**大阪市北区の自宅に待機する報道陣の眼前で、二人の男（写真）に刺された。永野（32）は、金の詐欺商法で警察の捜索を受けたばかりだった。

朝日新聞社

読売新聞社

▲**琵琶湖でトライアスロン大会（6月30日）**6ヵ国、427人が参加。日本初の本格レースに、8時間39分56秒の世界最高記録で米国のスコット（31）が優勝した。

◀**インドのシーク教徒が同時多発テロ（6月23日）**成田空港で航空貨物が爆発、二人死亡（写真）、直後、インド航空機が大西洋上で空中爆発、乗客ら325人全員が死んだ。

毎日新聞社

▼**大鳴門橋開通（6月8日）**兵庫県淡路島と徳島県鳴門市を結ぶ、全長1629メートル、東洋一の吊り橋。総事業費は1000億円、通行料金は普通車で1800円だった。

共同通信社

▼**米国務省で土俵入り（6月11日）**初の「ニューヨーク場所」を前に、大相撲一行がシュルツ国務長官を訪問。横綱千代の富士（中央）、露払い小錦、太刀持ち若島津。

共同通信社

昭和60年6月

1（土）●黒澤明監督・仲代達矢主演「乱」封切。●国鉄、余剰人員対策推進本部を設置。
2（日）●能力主義支持の会社員が六割を超すと労働省。
3（月）●トヨタの経常利益が初の五千億円台と判明。
4（火）●定年後も九割が再就職と労働省調査。
5（水）●西銘沖縄県知事、米国務省に基地整理を要請。
6（木）●川崎市で「エホバの証人」の信者が交通事故にあった息子への輸血を拒否し、子どもも死亡。
7（金）●二〇ヵ国一〇〇人の報道写真家が全国で日本人の二四時間を撮影。一三万五〇〇〇カット。
8（土）●東洋一の吊り橋・大鳴門橋、開通。
9（日）●都内で病苦による老夫婦の心中増加と新聞に。
10（月）●郵政省、初のコンピュータ郵便サービス開始。
11（火）●十代の妊娠中絶が一〇年前より倍増と厚生省。
12（水）●千葉市で大型トレーラーと観光バスが衝突。一人死亡、五五人負傷。
13（木）●リクルート、「週刊就職情報」誌のテレビCM「ヤリガイ」を放映開始。
14（金）●EC、日本製VTR関税引き上げ方針発表。
15（土）●沖縄の一坪反戦地主会、米軍嘉手納基地内民有地の継続使用認定取り消しを提訴。
16（日）●富士宮市でハンググライダー墜落。青年死亡。
17（月）●富士通、米に建設の磁気ディスク工場から年間二〇〇億円を逆輸入する計画を発表。
18（火）●豊田商事会長・永野一男、マスコミ環視の自宅内で二人組の男に刺殺される。
19（水）●警視庁、投資ジャーナルの幹部一一人を逮捕。
20（木）●江東区のケーブル埋設工事で道路四〇メートル陥没。
21（金）●大阪地裁の豊田商事全財産保全命令で、全国二二ヵ所で仮差し押さえ、事実上の倒産に。
22（土）●日本環境学会、「核の冬フォーラム」を開催。
23（日）●堺市の日立造船で炭酸ガス噴出。六人酸欠死。●アイルランド上空でシーク教徒によりインド航空機爆破。三二五人死亡。成田でも爆発事件。
24（月）●参院、女子差別撤廃条約批准を承認。●松田聖子・神田正輝、サレジオ教会で結婚。
25（火）●政府、一八六二品目の関税引き下げを決定。
26（水）●臨教審、第一次答申。個性や徳育を重視。
27（木）●上野動物園のパンダ、ホアンホアンが人工授精で第一子出産（29日圧死）。
28（金）●女性の平均寿命が世界初の八〇歳超と厚生省。
29（土）●文部省、転校承認など「いじめ」緊急対策通知。
30（日）●日立・日本電気・富士通が磁気ディスク記憶装置の対米輸出攻勢、と新聞に。

「現場」を歩く

大阪

阪神優勝フィーバーに巻きこまれた「ケンタッキー」人形受難の跡

山本徹美

▲阪神ファンたちが、13年前に大騒ぎした大阪・ミナミの戎橋と道頓堀川。　奥村健太郎

昭和六〇年一〇月一六日午後九時五九分、東京・神宮球場の試合で阪神タイガースは対ヤクルト戦を延長一〇回、五対五で引き分け、二一年ぶりにプロ野球セントラルリーグでの優勝を決めた。

阪神ファンは、興奮のきわみに達する。

「朝日新聞」が報じる。

「大阪市・ミナミの戎橋の群衆は千数百人にふくれ上がった。うち数十人が橋の欄干や南詰めのファストフード店の軒先によじのぼったり、シュプレヒコールを繰り返したり、裸で走る男も。自動車通行禁止の戎橋を北詰めからトラのしま模様の乗用車三台が渡り、数人が戎橋から道頓堀川に飛び込んだ」（同一七日付）

一〇月一七日午前零時頃、戎橋の南詰めにある「ケンタッキー・フライド・チキン」の店頭においてあったカーネル・サンダースの人形めがけ、数人が「バースの代わりや、胴上げしたらんかい」など叫び、飛びかかった。同店に勤務中だった秋里健二氏（現・同SV代理店勤務）が回想する。

「みんな目の色が違っていて、異常でしたね。いくら制止しても聞いてもらえず、人形の足にうちの店員の足がからまり、危険だったのに、おかまいなしでした」

固定してあった鎖が引きちぎられると人形は、運動会の「大玉送り」のように人々の頭上を手渡しで戎橋まで運ばれ、数回胴上げされた後、川に投下された。

今立っているのは三代目

平成九年一二月末、戎橋を訪れてみた。道頓堀川はモスグリーンに濁り、川底は見えない。サンダース人形はどうなったのか。店へ行くと、サンタの衣装を身につけていたが、これは〝別人〟とのこと。

「川に放りこまれたのは二代目で、その後、某民放が道頓堀川にダイバーを潜らせて探索しましたが、結局、人形は見つかりませんでした。現在、立っているのは三代目です」（前出・秋里氏）

同店の向かいには紅白縞模様の衣装をまとい、太鼓をたたく人形がある。「くいだおれ太郎」だ。これを所有する㈱くいだおれ・岡田則一業務課長が語る。

「平成四年に阪神が優勝しかけた。危険を感じた私のとこでは、人形に浮き輪を持たして、水中眼鏡をかけ、『わたい泳げまへんねん』いう吹き出しをつけました。阪神はあかんかったけど、人形は話題になって、テレビ局が何社も来ました」

保安・警備面での対策について大阪府警本部の広報課に訊いてみた。

「タイガースの優勝なんて、まず、ありえない。そんな心配するよりも、戎橋周辺では悪質なキャッチセールスの被害が多く、そちらの取締りを重視しています」

別名「ひっかけ橋」とも呼ばれるこの橋上では、各種勧誘やビラ配りの男女がしきりに通行人に声をかけ騒々しい。その雑踏も川底に眠る人形には、届かない。

霜越春樹

▲昭和60年10月16日、阪神優勝の日、胴上げされる「ケンタッキー」の人形。この後、道頓堀川に投げこまれた。

モノ語り'85
〝技術立国〟の面目躍如！「ミノルタα-7000」「CCD-V8」「コピージャック」

◀**一眼レフカメラにもオートフォーカス**　撮影システム全体を、ボディーに搭載されたマイクロコンピュータで制御する、本格的オートフォーカス一眼レフカメラ「ミノルタα－7000」がミノルタカメラ（現・ミノルタ）から、この年2月に発売され、日本のみならず世界市場で爆発的にヒットした。あらゆる撮影意図に合わせて自動的に、しかもすばやく対応してくれるカメラで、アマチュアに大いに歓迎された。フラッシュなどのアクセサリーも、「ミノルタαシステム」として同時に発売された。本体価格は8万8000円。

▶**メモにもニューメディア時代**　メモを書き残す代わりに音声で録音し、再生もいたって簡単という高性能ミニテープレコーダー「ユーゾー」（YOUZO）が、ワグナー商会から3500円で発売され人気を呼んだ。手にとってボタンを押して録音、再生はこの装置を手にとるだけという簡便さもポイントだった。なお録音時間は20秒間で、エンドレスだった。

◀**子どもたちはコレクションに夢中**　ロッテが「ビックリマンチョコ」を売り出したのは昭和52年だったが、この年、おまけのシールに「悪魔対天使」のシリーズが入るや人気爆発。1個30円。本体のチョコレートよりも、おまけのシールを求めて、子どもたちが買いあさった。シールのキャラクターは大きく分けて「お守り」と「天使」と「悪魔」の3種類で、それぞれにバージョンがあり、特に光るシールは絶対数が少なく、人気を集めた。

▲**数分で調理し食卓へ**　電子レンジが半数の家庭に普及したこの年、パッケージのままレンジに入れて加熱すると、数分でき上がり、食卓にもそのまま出せる超便利食品「ハウス　レンジグルメ」が発売された。ハウス食品工業（現・ハウス食品）からで、中華おこわ（220円）、ヨーグルト蒸しパン（230円）、フルーツケーキ（250円）など、7種類23品目がそろえられた。

▼**印鑑までカードになった！**　何枚ものカードを財布に入れて持ち歩くカード時代の中、円筒形のものと決まっていた感のある印鑑がカード化され、人々のど肝を抜いた。タンゴが1枚800円で発売した「イン・カード」である。キャッシュカードとほぼ同じ大きさと厚さのカードに、印鑑が仕込まれており、抜群のアイディアが受けて、大ヒット商品になった。

◀**軽量小型化した家庭用ビデオ**　カメラ一体型のビデオテープレコーダーは、その軽量化や高性能化を競って各社から開発・発売されたが、ソニーはこの年1月に、8ミリビデオ「CCD－V8」を28万円で発売し、話題を呼んだ。画質のよさのバロメーターである画素数を従来の19万個から25万個と向上させた、新開発のCCD（固体撮像素子）を搭載し、解像度を上げることにも成功した。重量も1.97キロと手軽に持ち運べる重さだった。

▲**持ち歩いて使える複写機が登場**　文具感覚で持ち歩いて、どこででもその場で、本や新聞などを複写できる、超小型複写機「コピージャック」が、プラスから5万8000円で発売され注目された。複写したい箇所に本体の先端をあててスライドさせると、新聞記事ほぼ1段分にあたる4センチ幅をコピーできるというものだった。

ベストセラー
小松左京の『首都消失』が問う〝危機管理〟のあり方

この年、ベストセラーの六位となった小松左京の『首都消失』は、東京への一極集中と、高度なテクノロジーに支えられた社会における〝危機管理〟のありようを問いかけた作品。東京を半径三〇キロ、厚さ一〇〇〇メートルという巨大な雲が包みこみ、外界との交通はもとより、有線による通信も、電波も遮断されたという設定のもとにこの物語は展開する。設定は奇想天外だが、それへの対応は、きわめて現実的なシミュレーションで描かれている。雲の中に消えた東京の国家中枢をどうするか。臨時政府をどのように作るか。海外からの圧力をどう、かわすか。山積する問題が解決を迫る……。

一方、長年つとめた自動車会社の名門・フォードで、社長にまで昇りつめたリー・アイアコッカによる告白録『アイアコッカ』が、アメリカでミリオンセラーになり、日本でも翻訳紹介されるや、たちまちベストセラーに。超有名企業のトップから、ドラスティックに引きずり降ろされ、そのわずか二週間後には、ライバル会社だったクライスラーに社長として迎えられ、沈没寸前だった同社を立て直したアイアコッカの、この本は処世訓であり、具体的なビジネス指南書だった。

ベストテンには入っていないが、ダン池田の『芸能界本日モ反省ノ色ナシ』が、芸能界暴露本として、この年話題になった。バンドマスターとして、テレビの裏側をいやというほど見てきた男の、職を賭しての告発本だから、迫力があった。特に、本来なら歌のよさや歌手の能力に与えられるはずの賞までも金まみれとなり、それが歌謡界をダメにしているという指摘は、実名を出しての具体的なものだけに、芸能界に衝撃を与えた。

●昭和60年のベストセラー

順位	書名
1位	『スーパーマリオブラザーズ完全攻略本』（ファミリーコンピュータマガジン編集部編／徳間書店）
2位	『アイアコッカ』（リー・アイアコッカ／ダイヤモンド社）
3位	『科学万博つくば'85公式ガイドブック』（国際科学技術博覧会協会編／講談社）
4位	『プロ野球殺られても書かずにいられない』（板東英二／青春出版社）
5位	『わが家の確定申告法』（野末陳平／青春出版社）
6位	『首都消失（上・下）』（小松左京／徳間書店）
7位	『豊臣秀長（上・下）』（堺屋太一／PHP研究所）
8位	『ダーティペアの大逆転』（高千穂遥／早川書房）
9位	『あゝ人間山脈』（松山善三／潮出版社）
10位	『スーパーマリオブラザーズ裏ワザ大全集』（フタミ企画編／二見書房）

全国出版協会出版科学研究所

▲『首都消失・上』（上下各700円）

▲『アイアコッカ』（1800円）

▲『芸能界本日モ反省ノ色ナシ』（850円）

スターと名場面
熊野の自然と人間を描く中上健次脚本「火まつり」

都市化や情報化が急激に進んでいく時代を、別の角度から照らし出す映画が目立った年である。中上健次の脚本で、柳町光男監督が撮った「火まつり」は、その代表的な作品だった。熊野の山で樵をする男を主人公として、大自然と人間との深いかかわりを、陽光がきらめくような美しい映像の中に浮かび上がらせた。

喜劇映画で知られる森崎東監督は「生きてるうちが花なのよ　死んだらそれまでよ党宣言」で、新境地を切り開いた。旅から旅へのストリッパーと、賃金のよい原子力発電所専門の出稼ぎ労働者、いわゆる〝原発ジプシー〟の男との、粗っぽく見える恋を軸に、非行少女やじゃぱゆきさんをからませて、人々のエネルギーとダメージを描き出した。

また相米慎二監督は、思春期に揺れ動く少年や少女の心をそのまま映像化したような作品、「台風クラブ」を撮って注目された。時代の雰囲気はこういう作品に残されていくのかもしれない。

この年、ほかに次のような作品が公開された。かっこ内はおもな出演者。「さびしんぼう」（富田靖子、尾美としのり）／「それから」（松田優作、藤谷美和子）／「アマデウス」（F・マーリー・エイブラハム）／「刑事ジョン・ブック　目撃者」（ハリソン・フォード）

西友提供

▲「火まつり」で、北大路欣也（右）は大自然とともに生きる樵の役を熱演した。左は、共演した中本良太。

キノシタ映画製作／キネマ旬報社提供

▶「生きてるうちが……」で主役のストリッパーを演じた倍賞美津子（左）と、〝原発ジプシー〟役の原田芳雄（右）。

キネマ旬報社提供

▲「台風クラブ」で思春期の心の揺れ動きをみごとに演じて見せた、工藤夕貴（右）と三上祐一（左）。

▲郷ひろみとの訣別宣言からわずか三ヵ月後に、松田聖子は神田正輝との婚約を発表、この年六月二四日、東京・サレジオ教会で挙式する。しかし平成九年一月、離婚。

人物クローズアップ

松田聖子（二三）

神田正輝との「二億円挙式」で アイドルから〝時代の偶像〟に

「〝聖子フィーバー〟二億円挙式、報道陣五〇〇人、ファンも三〇〇〇人」

昭和六〇年六月二四日の「朝日新聞」夕刊社会面は、歌手・松田聖子（二三）と俳優・神田正輝（三四）の挙式という〝事件〟をこう伝えた。東京都目黒区碑文谷のサレジオ教会で行われたスーパースターの挙式に、警視庁は九〇人の警備陣を繰り出した。赤坂のホテルニューオータニでの披露宴はあますところなく、テレビで実況中継され、視聴率は三四・九%を記録した。撮影のためのヘリコプターが上空を飛びまわり、ハワイへハネムーンに出かける聖子夫妻を一〇〇人以上の報道陣が追いかけ回すというVIP顔負けの取材合戦が繰り広げられ、五年前の百恵フィーバーを上回る過熱ぶりとなったのである。

昭和五五年のデビュー以来、リリースするシングルがすべてヒットチャートのトップに躍り出る記録更新中で、CM一本の出演料が五〇〇〇万円とささやかれる、今をときめく超人気歌手と人気俳優の世紀の華燭の典だった。

松田聖子、本名・蒲池法子は、昭和三七年三月一〇日、福岡県久留米市生まれ。公務員で、まじめ一筋の父・孜と、明るい母・一子との間に育った。

蒲池法子が歌手・松田聖子となる出発点は、昭和五三年四月に福岡で行われたミス・セブンティーンの九州地区大会にある。ハスキーでありながら天性の甘い歌声と、あがることを知らない一六歳とは思えない強心臓ぶりで、みごとこの大会を勝ち抜いた。

その歌声に惚れこんだレコード会社にプロ入りを勧められるや、彼女は一気に突っ走った。

昭和五五年四月一日、資生堂洗顔フォーム・エクボのコマーシャル曲「裸足の季節」で歌手デビュー。コマーシャルソングの全盛時代でもあり、またこの年三月、スーパーアイドルであった山口百恵の引退宣言を受け、大衆の新たなヒロイン登場願望という追い風にも恵まれた聖子は「裸足の季節」（五三万枚）一曲でスターダムにのし上がった。二曲目の「青い珊瑚礁」は、夏の甲子園の入場行進曲に選ばれ、ミリオンセラーにあと一歩まで迫った。さらに、聖子を元祖とするかわい子ぶっているという意味の〝ぶりっ子〟は、流行語にまでなった。

やがて、九州時代からあこがれていた歌手・郷ひろみとの恋。そして、郷との破局からまもない神田正輝との婚約と結婚。したいことを素直にし、飾らずに表現する聖子の生き方は、同年代の女性たちの心をつかみ、彼女はたんなるアイドルから時代の偶像となった。

『松田聖子おんな革命』の著者・川野辺静樹氏は、松田聖子をこう評する。

「〝ぶりっ子〟は彼女の素顔ですが、松田聖子のたんなる一面でしかない。彼女は一ヵ所にとどまらない貪欲な女性です。結婚も子どもも仕事も、ほしいものを素直にほしがり、すべて手に入れてしまう。そこに、世の女性たちは自分の願望を投影してみたのです。自分の夢を実現するために一途に突き進む松田聖子のキャラクターそのものが〝時代〟だったのです」

▲「ぶりっ子」という流行語も生んだスーパースター、松田聖子のステージ風景。

決定的瞬間

「アパルトヘイト」への怒り！黒人詩人の追悼集会が発端で南ア白人地区で初の暴動発生

◀1985年10月18日、南アフリカ共和国のヨハネスバーグで、黒人による反人種差別の暴動が、初めて白人地域に波及した。

ジョン・パーキン(AP)/WWP

一九八五年一〇月一八日、南アフリカ共和国最大の都市ヨハネスバーグの中心街は、大混乱の中にあった。驚愕して逃げるネクタイ姿の白人。男は白人しかいないはずのこの地域で、黒人に取り囲まれ、恐怖に駆られている。今までには考えられないことであったが、これが一九八五年以降の南アの新しい現実となったのだ。

この日、南アでは著名な黒人詩人、ベンジャミン・モロイセ（三〇）の死刑が執行された。彼は一九六一年から実施されたアパルトヘイト（人種隔離策）に抵抗する最大組織ANC（アフリカ民族会議）の元メンバーで、ANCの指令によって黒人の警察官を殺害した容疑で一九八二年に逮捕され、死刑判決を受けていた。しかし、一貫して無実を主張する。

EC諸国や国連もこの事件に関心を持ち、モロイセの死刑執行の延期を求めていた。にもかかわらずP・W・ボタ大統領（六九）は助命嘆願を却下し、一八日午前七時、ついに刑が執行されたのだ。

▼1990年2月11日、ANCのネルソン・マンデラが28年ぶりに釈放された。写真はケープタウンの刑務所を出たマンデラとウィニー夫人。

AP WWP

同日の昼には、モロイセの追悼集会がヨハネスバーグの中心部にある南ア教会評議会ビルで開かれ、約三〇〇〇人の黒人が路上にあふれ出ていた。市の中心地域は、許可なく黒人が立ち入ってはいけない所とされている。警察は解散を命じ、警察犬を連れた一隊が教会評議会のビルの中に突入した。この騒ぎで黒人一人が射殺され、警官二人が負傷。追われた人々は商店街に移動し、警官に対して投石を始めたのだ。

白人地区で暴動が起きるのは、南アでは初めての出来事だった。それだけに、事件が白人社会に与えた影響は深刻なものがあった。

一九八五年、アパルトヘイトに世界の非難が高まってくる中で、南ア政府は四月に「雑婚禁止法」「背徳法」を廃止し、人種間相互の恋愛や結婚が許されるようになった。ボタ大統領がこのような政策を実行したのは、先進国の経済封鎖が経済に深刻な影響を与え始めたという背景がある。

政府は前年、オランダ移民と原地民（後には東南アジアからの奴隷）との混血によって生まれたカラードと、インド系南ア人を議会に参加させる「人種別三院制議会」を発足させていたが、人口の約七割を占める黒人にはあいかわらず政治的参加が許されていなかった。

アパルトヘイトの本質でない部分では妥協を重ねつつ、黒人に対しては厳しく隔離政策を継続実行していくという姿勢は、むしろ黒人社会からの反発を強める結果となったのは当然のことと言える。そして、モロイセの処刑で、それが爆発したのだ。

この年以降、白人社会と黒人との闘争は、テロをともなう暴動となって南ア全土に広がっていった。翌一九八六年には全土に非常事態宣言が発せられたが、事態は沈静化せず、大規模なストライキが頻発。そして、ついに一九八九年、ボタ大統領は辞任し、フレデリック・W・デ・クラーク首相のもとでアパルトヘイトの廃止が決まる。

一九九〇年二月一一日、黒人解放運動の指導者であったネルソン・マンデラが、二八年にもおよぶ獄中生活から解放された時、ケープタウン市役所前には、二〇万人の国民が集まっていた。あらゆる苦難に耐え、伝説的存在ともなっていた老闘士を、ひと目見るためにである。

美の出会い

人気絵はがきは「種蒔く人」 四〇万人以上が詰めかけた「ゴッホ展」の数々の〝難題〟

◀「ゴッホ展」は10月12日から12月8日まで、東京・国立西洋美術館で開催され、観客は40万人を超えた。
東京新聞社

昭和六〇年一〇月一二日から約二ヵ月にわたり、東京・上野の国立西洋美術館で「ゴッホ展」が開催された。日本ではゴッホの展覧会は、これまでに昭和三三年と五一年の二回開かれ、ともに大成功をおさめたが、今回も入場者が四〇万人を超え、この年の最高を記録。日本人のゴッホびいきは相変わらずだった。

前二回の「ゴッホ展」は、ひとつの美術館からほとんどの作品を借り出すといった〝出開帳〟だったが、今回の「ゴッホ展」は、オランダのフィンセント・ファン・ゴッホ美術館、国立クレラー・ミューラー美術館といったゴッホ作品の至宝を所蔵している美術館をはじめ、世界各地の美術館や個人所蔵の作品も集めた、〝夢の展覧会〟となったのである。

展示された作品は「ガッシェ博士の肖像」「向日葵」などの油彩画五五点、「畑を掘る二人の農婦」「種蒔く人（ミレーによる）」など水彩・素描四〇点、「馬鈴薯を食べる人々」「果樹園で働く人」などの版画四点のほかに、ゴーギャンへの手紙、シニャックへの手紙二点の総計一〇一点が出品された。国別に見ると、オランダの前記の二つの美術館から三五点、それ以外はオランダ一七点、アメリカ一四点、スイス一〇点、フランス七点、ベルギーとイギリスが三点、ソ連とブラジルが二点、西ドイツとノルウェーが一点、そして日本から六点の作品が集められた。

これまで世界各国で何度か「ゴッホ展」が企画されてきたが、大規模な展覧会は稀だった。ところが今回の日本展では、主催者の国立西洋美術館、東京新聞社、中部日本放送が三年にわたる粘り強い交渉を続けた結果、なんとか開幕にこぎつけたのだった。

所蔵者への出品打診に対し、「NOT」とか「SORRY」という返事が返ってくる。当時、「東京新聞」事業局長だった夏目十郎は記している。

「各美術館とも、その館にとってゴッホは貴重な収蔵品であり、最も貸し出したくない作品なのだということがあらためて実感される」（「芸術新潮」昭和六一年二月号）

こうした困難な状況を克服し、展覧会を成功に導いたのは、美術史家で当時グラスゴー大学教授のロナルド・ビッグヴァンスの支援だった。

ビッグヴァンスは、今回の「ゴッホ展」を「イギリスの要素（都市と人間のタイプ）」「オランダの要素（農民の風景）」「フランスの要素（印象主義と風景）」「日本の要素（日本美術、浮世絵がゴッホにおよぼした影響）」それに「総合」と五つの要素によって構成することを提案した。このプランが、従来の「炎の人ゴッホ」「狂気の画家」といった概念で見られがちな回顧展とは違った新鮮な印象を、所蔵者たちに与えたのであろう。大きな説得力を持ったのである。

難題はその後もついてまわった。所蔵者からは、素描一点でも運搬の往復に随行者をつけることを求められるなど、保険や運搬、関係者の招待、海外交渉費などを総計すると、経費は三億七〇〇〇万円にものぼり、四〇万人の入場者があっても黒字にはならなかった。

しかし、こうした努力のかいもあってか、美術専門家の間で高い評価を得た。

「こんどのゴッホ展ではこの頃なかった感銘の深さに胸をつかれ、言葉もなく会場を出た」という日本画家の高山辰雄（七三）やゴッホの描くミレーやドラクロワの模写作品に「自からの意識が運ばれていく快感に充足していた」（ともに「芸術新潮」二月号）という画家・横尾忠則（四九）らの言葉に、展覧会の充実ぶりがうかがえる。

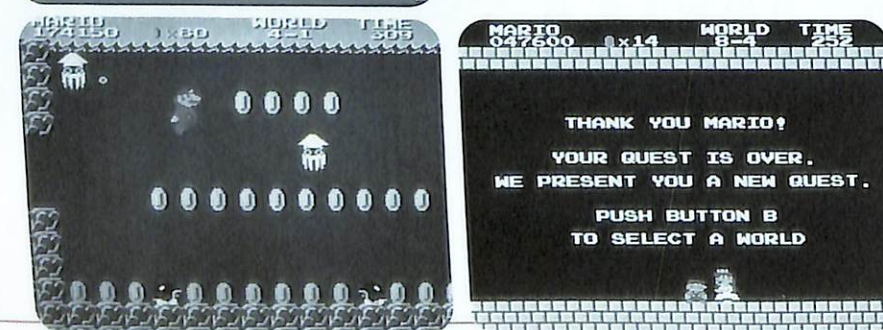
会場では「向日葵」「種蒔く人」「ガッシェ博士の肖像」などの有名作品の前に観客が殺到し、主催者が意図したゴッホ芸術に対する新しい視点が、かならずしも理解されたとは言いがたかった。中でも最も熱気があったのは、カタログやポスター、額絵売り場で、三二種用意された絵はがきを選ぶ人で混雑が続いた。ちなみに絵はがきの総売り上げは三七万七三一〇枚で、一位は「種蒔く人」、二位は「向日葵」だった。

◀「ガッシェ博士の肖像」。一八九〇年六月制作。油彩、六六×五七センチ。ガッシェ博士は神経科の医師。ゴッホにとって、医師である以上に友人であり、ゴッホの作品のよき理解者でもあった。

国立フィンセント・ファン・ゴッホ美術館蔵

▶「花咲く梅の木（広重による）」。一八八七年制作。油彩、五五×四六センチ。ゴッホは日本の浮世絵に興味を持ち、弟のテオとともに四〇〇点以上も集めた。この作品は、広重の「名所江戸百景」から「亀戸梅屋舗」を模写したもの。文字は、別の版画から写し取っている。

20世紀博物館

資生堂企業資料館

商品一万点、ポスターなど三万点…… 日本の化粧品の"近・現代史"

静岡・掛川市

桑原茂夫

▲アートハウスにずらりと並べられた、資生堂のポスター。懐かしい気分にさせられる。

「資生堂企業資料館」は平成四年、創業一二〇年を記念して開設された企業博物館である。一、二階合わせて展示面積五五〇平方㍍余のゆったりした空間に、一二〇年という長い時間と、これからもたらされるであろう時間が、積み重なるように漂っている。一階には一六のケースに分けて展示された一二〇年があり、二階の特別展示室には"サクセスフル・エイジング"つまり上手に齢をとる方法についての、資生堂の現在の考えと未来への展望が示されているのである。

まず一階には、テーマ別に展示ケースが並べられており、それぞれのケースのポイントを、イヤホンガイドが丁寧に説明してくれる。

西洋風調剤薬局としてスタートした資生堂が、初めて世に出した化粧品である、明治三〇年発売の「オイデルミン」が展示されているケースをはじめとして、大正五年に意匠部が発足した当時の包装紙や、泉鏡花の本の装丁でも有名な小村雪岱が、資生堂意匠部に所属していた時に描いたイラストなどを集めたケース、大正一一年に、今で言う企業メセナ活動の一環として刊行された童話雑誌「オヒサマ」が納められたケース、昭和一二年に発足した花椿会の、会員に配られた、西陣の帯留などの記念品を展示したケース、さらに昭和三〇年代後半から売り出された「MG5」など男性化粧品をテーマにしたケースや、昭和三九年の「禅」という名の香水を皮切りに海外に向けて売り出された化粧品のケースなど、全体像がつかみにくいほどバラエティに富んでいる。

多様な展開をしてきた資生堂の、というより日本の化粧品の近・現代史にじかに触れることができるわけで、一階のフロア全体が、静かだがエキサイティングな空間となっているのである。

この資料館の三階、四階には収蔵庫がある。展示品と合わせると、商品が一万点、ポスターなど販促用品が三万点、「花椿」などの印刷物が一万数千点、資料写真が一万点。実に膨大なコレクションである。化粧品関係者のみならず、部外者にとっても、大変興味深いものであり、端倪すべからざる資料館と言うべきだ。

また、この資料館と同じ敷地内に「資生堂アートハウス」がある。ここには、資生堂が大正八年に開設した資生堂ギャラリーゆかりのアーチストの作品が収蔵され、その一部が企画展として展示されているほか、ポスターやパッケージなどの宣伝美術作品がずらりと並べられている。テレビCMのビデオを観ることも可能だ。たとえば、昭和六一年に二ヵ月間だけ放映された、「遠野物語」をテーマに宮沢りえが着物で登場する企業コマーシャルも、自由に観ることができる。全体としてファンタジックな空間になっているが、そういえば、資料館にもアートハウスにも、あまい香りが漂っていて、積み重なった時間の中に入っていく非日常的な感覚を心地よく刺激してくれた。

●資生堂企業資料館
静岡県掛川市下俣七五一―一
☎〇五三七―二三―六一二二
JR東海道線掛川駅からタクシーで五分。
または徒歩で二五分
開館時間＝一〇時～一七時
休館日＝月曜日（祝日の場合は翌日）、夏季（八月中旬）、年末年始
入館料＝無料

▼資料館全景。

▼右手前に「オイデルミン」、左手前に「歯磨石鹸」が見える。ともに明治時代の商品である。

▼明治35年に銀座にオープンした資生堂パーラーの展示ケース。文化人も愛用した当時の食器など。

▲1階フロア。テーマ別の展示ケースの脇（写真では左側）では、女性のお洒落史がビジュアルに展開されている。

618万本販売でファミコンブームの起爆剤に 赤い帽子に青い服の"ヒーロー"登場 「スーパーマリオ」大ブレイク！

▲東京・新宿のヨドバシカメラ店頭風景。人気ゲームソフトはなかなか手に入らず、ファミコン本体も品切れ状態。 朝日新聞社

さらわれた姫を助けるために敵と闘いながら八つの世界を旅する、主人公の冒険を体験できるという画期的なテレビゲームが、発売とともに若者や子どもたちの心をとらえ、爆発的な人気を呼んだ。このゲームのヒットにより任天堂の「ファミコン」は急激に売り上げを伸ばし「ファミコンブーム」の起爆剤となった。

「スーパーマリオ」人気 ファミコン拡販に貢献

クリッとした目のヒゲ面に赤い帽子をかぶり、赤いシャツに青いオーバーオールを着た二頭身半の「マリオ」の登場に全国の子どもたちは熱狂した。

●3点とも「スーパーマリオ」の画面。左は敵と戦う場面で、左下はコインを集めている場面。下は32の場面を攻略して初めて到達できるエンディング。マリオの右にいるのがピーチ姫。 ©1985 Nintendo

▲任天堂のソフト開発にあたる部署。社員は若い人が多く、デスク周辺には、さまざまなものがおかれている。 朝日新聞社

昭和六〇年九月、玩具メーカー・任天堂の家庭用ゲーム機「ファミリーコンピュータ」（以下、「ファミコン」）のゲームソフトとして発売された「スーパーマリオブラザーズ」は、発売と同時に口コミで評判が伝わり、一気に圧倒的な人気を誇るゲームになった。

ゲームの内容は、さらわれたピーチ姫を助けるため、八つの世界をまたにかけてマリオが冒険の旅を繰り広げるというもの。その中でマリオは〝敵〟と闘っていく。

マリオは、プレー中に三回失敗するとゲームオーバーとなる。しかしマリオが画面上にあるコインなどを集めると、その数に応じて何度でも復活し、プレーを続行することができる。また、秘密の部屋や隠れキャラクターなどもあり、当時としては画期的なゲームだった。

このゲームの魅力は、マリオのキャラクターと「繰り返し遊んでも飽きない」点にあった。いつしかゲームの世界に没頭してしまうのが「マリオ」の最大の魅力だった。

そして、ゲームの難易度が絶妙だったこともヒットの大きな要因となった。簡単なゲームではプレーヤーはすぐに飽きてしまう。しかしむずかしすぎても、そっぽを向かれてしまう。簡単すぎず、むずかしすぎないこと。「スーパーマリオ」はこれをうまく満たしていたのだ。

「このゲームはすごいぞ」という評判とともに、「スーパーマリオブラザーズ」は売れに売れた。デパートの玩具売り場などには「スーパーマリオ」を買い求める子どもたちが殺到し、半年で三五五万本を売りきった。一日平均二万本という空恐ろしい記録を樹立したのである。

ハードである「ファミコン」は昭和五八年に発売され、「スーパーマリオ」の発売までに、四三三万台が売れていた。だが、「スーパーマリオ」発売後の一年間に、それまでとほぼ同数の四一一万台を売り上げた。一本のゲームの力が、ハードの売り上げに大きく貢献したのだ。

「スーパーマリオ」をきっかけに「ファミコン」は一躍、注目を集め、その後の爆発的ブームに発展していった。最終的に「スーパーマリオ」は六一八万本、金額にして三〇三億円を売り上げたのである。

▲「スーパーマリオブラザーズ」のカセット。定価4900円。昭和60年9月23日に発売され、半年で355万本が売れた。 任天堂提供

大ヒットをした要因はプレーヤーの手ごたえ

「スーパーマリオ」による「ファミコン」ブームは、そのまま日本の家庭用テレビゲーム市場の拡大の歴史であった。

任天堂の「ファミコン」以前にも、エポック、バンダイ、トミー、タカラなどの玩具メーカーが家庭用テレビゲーム機を販売していたが、さほどのヒットにはならなかった。三万〜六万円と価格が高かったせいでもあった。遅れて参入した「ファミコン」は一万四八〇〇円という圧倒的な低価格で、しかもほかのゲーム機と比べ遜色のない機能を持っていた。

任天堂では、「ファミコン」を「子どもの手の届く価格」におさえる戦略をとったのだった。つまり、ハードの利益を圧縮し、ソフトを次々と売り出すことで利益を得ようと考えたのだ。この戦略はみごとにあたり、「ファミコン」は一人勝ちとなった。

当時、「スーパーマリオ」を開発した任天堂情報開発部の宮本茂部長は話す。

「『スーパーマリオ』には、それまでつちかったノウハウをすべて投入しました。『これは売れる』と確信しましたが、まさかあれほどまでとは……。ヒットの要因はさまざまですが、〝プレーヤーの手ごたえ〟を大事にしたことが大きかったのでしょう。ダイレクトに感じる臨場感が、新鮮な感動や面白さとして受け入れられたのではないでしょうか」

マリオ人気は過熱し、〝攻略本〟は軽く一二〇万部を突破した。また、ブームはいくつかの〝暴走〟事件も生んだ。小中学生が万引きしたファミコンやソフトを、盗品と知りながら売りさばいていた業者が摘発されたのもそのひとつだ。群馬県のその業者は、盗品を持ちこんだと見られる八歳から一七歳までの子どもたちの三三〇人分のリストを持っており、世間に大きなショックを与えた。また、海賊版ソフトも多数出まわった。

そうした脱線の一方で、「スーパーマリオ」のインパクトは、ゲームの世界だけにとどまらなかった。次々とマリオキャラクターの子ども向け商品が作られたのである。運動靴、椅子、ノート、下敷き、清涼飲料、菓子、はては、ふりかけや毛糸にいたるまで、マリオキャラクターは氾濫した。そして一世を風靡したディスコの「マハラジャ」でも、マリオのテーマ曲がディスコ調にアレンジされ、若者の人気をさらってもいた。

マリオが発売されてから、子どもの世界にファミコンは完全に定着していった。現在「ゲームボーイ」は、受験用ソフトが相次ぎ発売されるなど、学習機器としても活用されている。そして、〝花札とトランプの会社〟だった任天堂は、今や国際的企業として知られている。平成一〇年三月期の売り上げは、米国向け輸出の好調にも支えられ、四二三〇億円に達すると見こまれている。

当時の人気ファミコンソフト

イー・アル・カンフー

▲主人公が、火吹き男、手裏剣少女などを相手に、次々にカンフー試合を行うという設定。技を繰り出すタイミングがむずかしく、うまく決まった時の爽快感で人気に。 ©コナミ

マリオブラザーズ

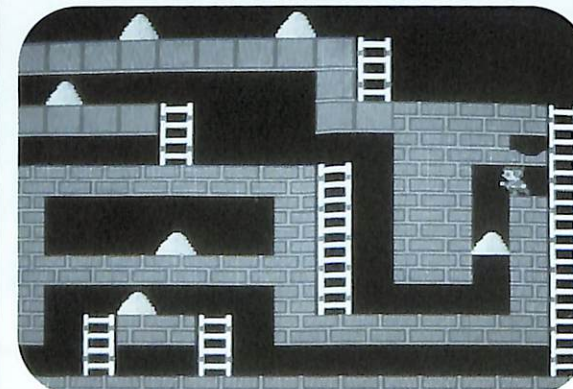
▲「スーパーマリオ」のルーツで、主人公のマリオや敵のキャラクターであるカメなどおなじみのメンバー。スーパーマリオに比べてかなりシンプルだが、人気があった。 ©1983 Nintendo

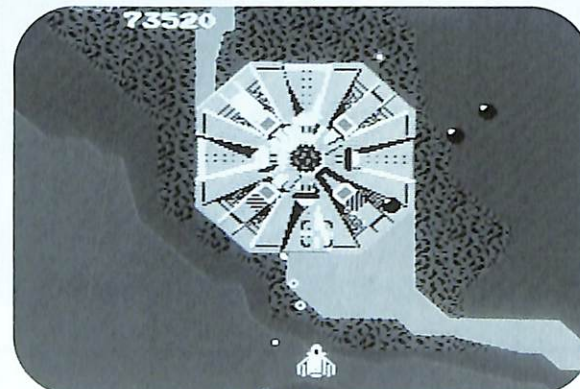
ベースボール

▲初期のファミコンゲームの大ヒット作。投手の球種も4種類あり、攻撃側もバントやスチールなどができ、複雑な野球のプレーが楽しめた。 ©1985 Nintendo

ツインビー

▲スピーディなシューティングゲームで、空中や地上から次々に出現する敵を撃破しながら進んでいく。敵キャラクターも、食器や野菜などを模したユニークなもの。 ©コナミ

ロードランナー

▲ロボットの攻撃をかわしながら、迷宮におかれた金塊を集めるという、アクションパズルゲーム。 ©HUDSON SOFT CO.LTD. UNDER LICENSE FROM BRODERBUND SOFTWARE INC.

ゼビウス

▲この頃のアクションゲームの代表的な作品で、敵キャラクターの種類と数の多さ、あちこちにひそんでいる隠れキャラクターなどユニークな設定で、人気があった。 ©ナムコ

7~8月

フォト＋日録で再現する365日

ロイター／サンテレフォト

▲**ニュージーランドで「虹の戦士号」爆沈（7月10日）** フランスの核実験阻止を掲げる、国際環境保護団体グリーンピースの抗議船。乗員一人が死亡、仏情報機関の計画的爆破工作と判明した。写真は同船の引揚げ。

共同通信社

▶**近鉄のエース・鈴木啓示引退（7月11日）** プロ野球歴代4位の317勝（238敗）を残し、シーズン途中でユニフォームを脱いだ。37歳、育英高卒。無四球試合78は日本記録。背番号1は永久欠番になった。

共同通信社

▼**三光汽船、戦後最大の倒産（8月13日）** 負債総額約5200億円。世界有数のタンカー会社（本社・大阪）だったが、海運不況時の強気の造船が裏目に出た。写真は、29日の債権者集会で経過を説明する幹部。実質的オーナーの河本敏夫（特命相）は、国務大臣を辞任した。

共同通信社

▲**地滑り、老人ホームつぶす（7月26日）** 長野市善光寺近くの地附山南斜面が崩れ、麓の特別養護老人ホーム「松寿荘」と湯谷団地59戸が土砂に埋まり、逃げ遅れた老人ら26人が死亡した。避難勧告は出ていなかった。

共同通信社

▲**徳島ラジオ商殺し事件に無罪（7月9日）** 初の死後再審に徳島地裁が判決。故・富士茂子さんは昭和28年に夫殺しの罪を問われ、54年に69歳で亡くなるまで無実を叫び続けていた。

朝日新聞社

▶**金閣寺など拝観停止（7月15日）** 京都市が10日から実施した、寺社拝観料から大人50円、小人30円を徴収する古都保存協力税への抗議行動。昭和62年に税の廃止が決定。

昭和60年 7月

1（月）●ダイエー、生活情報誌「オレンジページ」創刊。
●音楽教科書から文部省唱歌消滅と判明。
●厚生省、非加熱製剤による血友病患者へのエイズ感染続出で加熱製剤の製造を承認。
2（火）●政府、「長寿社会対策関係閣僚会議」設置決定。
3（水）●広島市議会、核兵器廃絶平和都市宣言を可決。
4（木）●米の生産費が二四年以来初の下落と農水省。
5（金）●和歌山市で暴走族に角材投げつけ二人死傷。
6（土）●川越市に自閉症児訓練施設「初雁の家」開所。
7（日）●一七歳のボリス・ベッカー、全英テニス優勝。
8（月）●文部省、共通一次を五教科五科目に削減。
9（火）●徳島ラジオ商事件再審で故・富士茂子に無罪。
10（水）●京都市、古都保存協力税を実施。
●仏情報機関、グリーンピースの核実験抗議船「虹の戦士号」を爆破。
11（木）●国鉄能登線で急行脱線、転落。七人死亡。
12（金）●医道審議会、過剰診療・不正請求を行った医師二一人の処分を初めて厚相に答申。
13（土）●英米でアフリカの飢餓救済コンサート、「ライブ・エイド」開催。八〇ヵ国に衛星中継。
●ソ連のブブカ、棒高跳びで史上初の六㍍突破。
14（日）●長野県川上村の農業後継者と東京の女性が集団見合い「めぐりあいの会」を開く。
15（月）●ナイロビで国連婦人の十年世界婦人会議開催。
16（火）●住友金属、菱刈鉱山で高品位の金鉱脈に到達。
17（水）●最高裁、五八年総選挙の定数格差に違憲判決。
18（木）●財団法人・日本テクノマート発足。世界初の先端技術と関連情報の取引市場をめざす。
19（金）●屋久島南方にベトナム難民船。一六人餓死。
20（土）●南アで反アパルトヘイト蜂起激化、非常事態宣言（26日、国連安保理が経済制裁を決議）。
21（日）●日本への原爆投下には軍部より科学者が熱心だったと、米「ワシントン・ポスト」紙報道。
22（月）●臨時行革審、民間活力推進などを首相に答申。
23（火）●トヨタ、北米への小型車生産工場建設を決定。
24（水）●西独から有毒物混入ワイン輸入と判明。
25（木）●自治省、高給与の一五三市町村を公表。
26（金）●長野市で大規模地滑り。二六人死亡。
27（土）●主婦の夏休み旅行プランは、平均五日、予算は一〇万円と、東海銀行調査。
28（日）●中国帰国者援護事業協力会、発足。
29（月）●ゴルバチョフ、一方的核実験停止を声明。
30（火）●政府、市場開放行動計画の骨格を決定。
31（水）●数え年一〇〇歳の五十嵐貞一、富士山に登頂。

証言・あの日この日
村崎芙蓉子（49）

6月7日（金） 〈三時頃、私は口紅だけをぐいと引きなおし、バッグを抱えてエレベーターに飛び乗った。東京は新宿西口の、都庁も引っ越してこようという新都心。すでに何本か建っている超高層ビルの中の一つに私の勤める診療所がある／私は、ビルの外のまぶしい光の中を、ヒールの音も高らかに駅に向かって歩きだした〉（村崎芙蓉子『カイワレ族の偏差値日記』）

新都心・新宿の超高層ビルの診療所に勤務する医師・村崎芙蓉子は、この日、浮き浮き気分で息子の中学校へ。息子もいよいよ中3、初めての進路相談会。しかし偏差値が50と告げられガックリ。それから母と子の、必死の受験戦争が始まる。偏差値や内申書による進路指導には批判も多かった。この頃、中学校で、いじめ自殺が頻発したが、これも偏差値教育の影響か。（山崎行太郎）

望月誠

▲**アイドル、クラッシュ・ギャルズ（8月22日）** 東京・日本武道館で、ライオネス飛鳥（左・22）と長与千種（20）が新曲「東京爆発娘」を熱唱。二人は人気急上昇の女子プロレス界をリードするWWWA世界タッグチャンピオンだった。

▼**南ア政権、デモに強権発動（8月28日）** 人種差別反対組織UDFが計画した、服役中の黒人指導者マンデラの「釈放要求大行進」を、ブサーク牧師ら幹部の逮捕、治安部隊によるむち打ちなどで壊滅させた。

AP／WWP

▼**国産ワインも危険（8月29日）** 前月の有毒ワイン輸入騒ぎに続き、国産品安全宣言を出したマンズワイン社製品からも同じ有毒物質が検出された。同社は、輸入ワインを混入した「国産ワイン」を販売していた。写真は都の検査。

共同通信社

読売新聞社

▶**富山市で連続真夏日記録（8月27日）** この日最高気温が34.4度となり、最高気温30度以上の真夏日が7月22日から連続37日となった。これは昭和14年の富山気象台開設以来のこと。この記録は9月1日まで続き、深刻な水不足を招いた。

▶**日本人宇宙士候補（8月7日）** 宇宙開発事業団が全国533人の応募者の中から、日本人初のスペースシャトル搭乗科学技術者候補を選抜。写真右から毛利衛（37）、内藤千秋（33）、土井隆雄（30）の3人。

時事通信社

昭和60年 8月

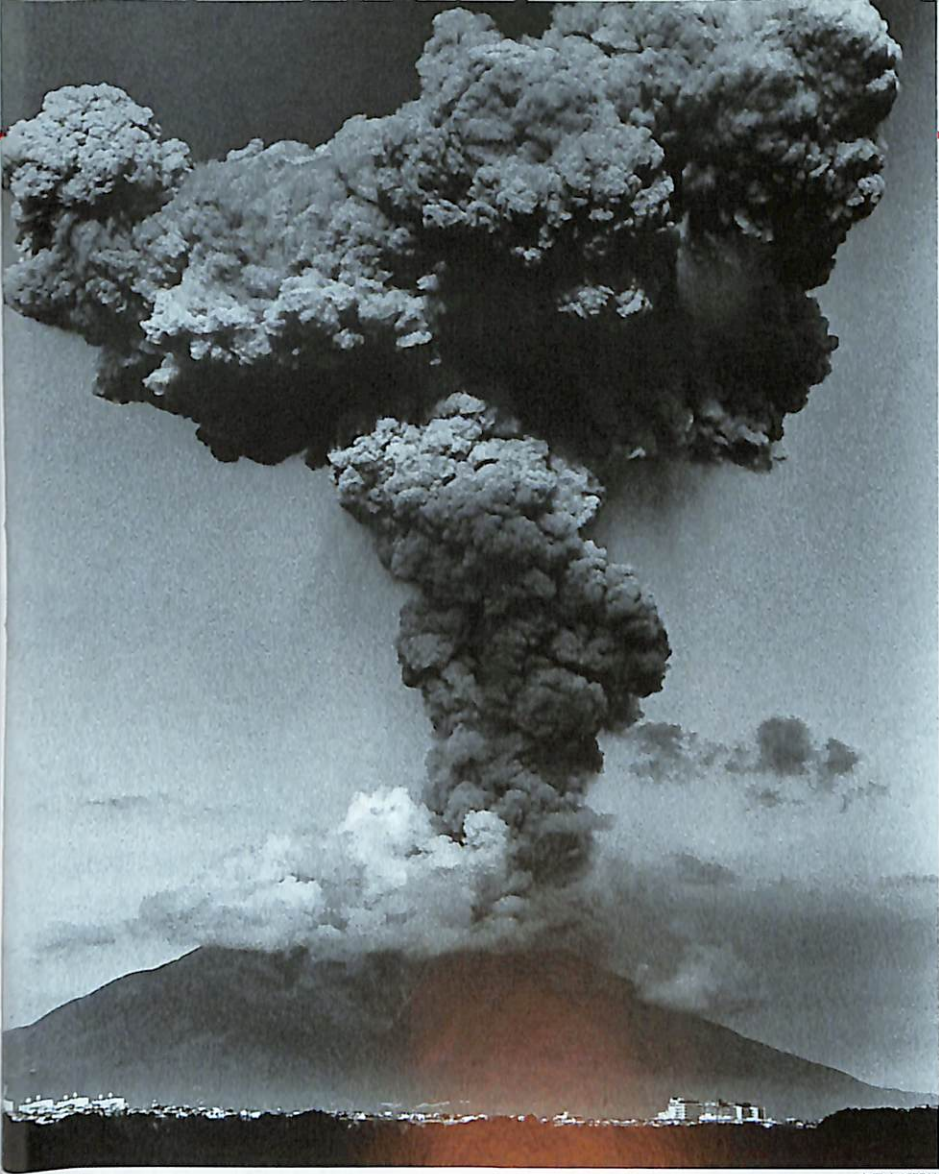
1（木）●都市計画審、今世紀中の公園面積倍増を答申。
2（金）●全国水環境保全市町村連絡協議会、発足。
3（土）●東シナ海海底で戦艦「大和」の艦体を確認。
4（日）●「ビルが有利」と、都心でのマンション建設が激減と、新聞に。
5（月）●堀江謙一、ソーラーボートでハワイから帰還。
6（火）●南太平洋諸国首脳会議、南太平洋非核地帯設置条約を採択。
7（水）●宇宙開発事業団、日本人宇宙飛行士三人決定。
8（木）●大京観光、都心の国有地を公示の三倍で落札。
9（金）●商取引禁止のブラジルの猿ライオンタマリンを北海道のスバルパークが公開中と判明。
10（土）●服部道子、日本人初の全米アマゴルフ優勝。
11（日）●「生活に満足」は七割で過去最高と総理府調査。
12（月）●群馬県「御巣鷹」に日航機墜落。五二〇人死亡。
13（火）●三光汽船倒産。負債五二〇〇億円で戦後最大（12日、オーナーの河本敏夫が特命相を辞任）。
14（水）●通産省、青森テクノポリス開発計画を承認。
15（木）●中曽根首相、戦後初めて靖国神社に公式参拝（10月18日、中国の批判受け秋の参拝を中止）。
●中国・南京に「南京大虐殺記念館」開館。
16（金）●島根県荒神谷遺跡で銅鐸と銅矛を同時発掘。
17（土）●松本市で高二生が職務質問の警官を刺殺。
18（日）●アジア初の第一回国際アニメーションフェスティバル、広島市で開催。
19（月）●日本隊が揚子江水源のグラタンドン山初登頂。
20（火）●文部省、学校内に和室設置をと全国に通達。
21（水）●大宮市で女子学生が太りすぎに悩み鉄道自殺。
22（木）●小・中・高校に電算機を積極導入と文部省。
●上場企業名の三割がカタカナ使用と判明。
23（金）●工業技術院、電算機の性能を向上する新半導体素子、チャープ超格子素子を開発と発表。
24（土）●ユニバーシアード神戸大会開幕（～9月4日）。
25（日）●東南アジアからの不法就労者は二年前の二・五倍と法務省調査。
26（月）●東京高裁、台湾人元日本兵への国家補償請求訴訟で控訴棄却。
27（火）●六月まで二八ヵ月連続景気拡大と経企庁発表。
28（水）●東証、金融対外開放へ会員一〇社増を決定。
29（木）●日本史の学習漫画が小学校副読本にと新聞に。
30（金）●ココム禁輸品密輸の商社に輸出禁止処分。
31（土）●小林明子歌「恋におちて」発売（「金曜日の妻たちへⅢ」の主題歌。年間売り上げ一位）。
●女子労働者が家事専業者上回ると労働省発表。

ロイター／サンテレフォト

▲先進5ヵ国蔵相会議「G5」開催（9月22日） ニューヨークに米、日、西独、英、仏の蔵相と中央銀行総裁が集合、ドル高修正のため為替市場協調介入で合意。円高への転機となった。

読売新聞社

▲巨大迷路流行（9月） 京都市伏見区に総延長7キロ、広さ3500平方メートルの「グランメイズ」がオープン（写真）。入場料500円。5月に北海道森町に日本初の立体迷路ができて以来、全国に誕生、昭和62年4月までに二十数ヵ所になった。

▼南北朝鮮の離散家族再会（9月20日） 1000万人と言われる該当者のうち、南北代表各50人が40年ぶりに故郷の土を踏んだ。写真はソウル近郊のホテルで兄（56）と対面、号泣する北朝鮮からやって来た妹（50）。

AP／WWP

南日本新聞社

▲桜島大噴火（9月9日） 午後5時頃、南岳が高さ4000メートルの噴煙を上げ、爆発。鹿児島市内に、また大量の火山灰をもたらした。この年の南岳は活動が活発で、年間噴火回数は474回に達した。

◀ピート・ローズ、最多安打を達成（9月11日） 対パドレス戦第1打席で安打。球聖タイ・カッブの通算4191本の記録を57年ぶりに抜いた。ローズは44歳。米大リーグのレッズ監督兼一塁手。

AP／WWP

ロイター／サンテレフォト

▲メキシコで大地震（9月19日） マグニチュード8.1。首都メキシコシティでは、満員の地下鉄が地中に埋まるなど被害甚大。1132棟が倒壊、死者・行方不明者約8000人。救助犬の活躍が注目された。

昭和60年9月

- **1（日）** ●道交法改正公布。シートベルト着用義務化。
- **2（月）** ●米仏調査隊、一九一二年沈没の豪華客船「タイタニック号」を三八〇〇メートルの深海で発見。
- **3（火）** ●文化庁、中国の敦煌石窟修復事業に予算請求。
- **4（水）** ●米司法長官、ヤクザの進出は許さないと声明。
- **5（木）** ●絹の下着が人気、高値でも品切れと新聞に。 ●文部省、「日の丸・君が代」の徹底を通達。
- **6（金）** ●米、日本のタバコ・皮革に通商三〇一条適用。
- **7（土）** ●銀行調査で結婚費用は約六八八万円と新聞に。
- **8（日）** ●「電灯をこまめに消す」は五年で一三％減と総理府世論調査。
- **9（月）** ●墜落日航機の隔壁に金属疲労が確認される。
- **10（火）** ●米公演中の舞踏集団「山海塾」の高田悦志、逆さ吊りのロープが切れ転落死。 ●撚糸工業組合で十数億円の使途不明金発覚。
- **11（水）** ●警視庁、ロス疑惑で三浦和義を逮捕。 ●俳優・夏目雅子、急性白血病で死去。二七歳。
- **12（木）** ●全面核戦争は「核の冬」招き、日本では人口の過半数が餓死と、国際学術連合会議が報告。
- **13（金）** ●横路孝弘北海道知事、幌延町の動燃放射性廃棄物研究・貯蔵施設建設計画を拒否。
- **14（土）** ●六五歳以上が初めて人口の一割超すと総務庁。
- **15（日）** ●日本の協力による中国の宝山製鉄所、完成。
- **16（月）** ●アジアからの入国者が初めて過半数と法務省。
- **17（火）** ●徳島西署、木刀で他校襲撃の女子中学生一三人を凶器準備集合容疑で補導。
- **18（水）** ●政府、中期防決定。防衛費GNP一％枠突破。
- **19（木）** ●メキシコで大地震。八〇〇〇人死亡・不明。
- **20（金）** ●南北朝鮮の離散家族が四〇年ぶり対面。
- **21（土）** ●任天堂、ファミコンゲーム「スーパーマリオブラザーズ」発売。
- **22（日）** ●五ヵ国蔵相・中央銀行総裁会議（G5）、ドル高修正で一致（プラザ合意。円急騰）。
- **23（月）** ●厚生省が化学物質など遺伝以外の原因による先天異常の監視法作る方針、と新聞に。
- **24（火）** ●閣議、各種許認可緩和など行革方策を決定。
- **25（水）** ●藤ノ木古墳の横穴式石室で朱塗りの石棺発見。
- **26（木）** ●敦賀市民、高速増殖炉「もんじゅ」の建設差し止めを求め提訴（10月18日建設着手）。
- **27（金）** ●尼崎市に西武系複合商業施設「つかしん」開業。
- **28（土）** ●TBS放映の「8時だヨ！ 全員集合」終了。
- **29（日）** ●総理府世論調査で「韓国に親しみを感じる」が初めて多数派となる。
- **30（月）** ●横浜そごう開店。日本一の売り場面積。

AP／WWP

▲宗兄弟が1、2位（10月13日） 工人体育場を出発した北京国際マラソンで、宗茂が2時間10分23秒で優勝、2位は弟の猛で同タイム。ソウル五輪に向け、ベテラン健在を示した。

◀国産STOL「飛鳥」初飛行（10月28日） 科技庁航技研のほか6社が、約286億円かけて開発。在来機の半分の滑走で離着陸でき、近距離便での実用化をめざしたが、地方空港で滑走路延長が実現、出番を失った。

共同通信社

▶中央自動車道で2階建てバスが転落（10月5日） 山梨県須玉インター近くで約30メートル下の県道に転落。3人が死亡、61人が重軽傷。運転手は直後に自殺。スピードの出しすぎで、カーブを曲がりきれなかった。

▼関越自動車道全通（10月2日） 前橋―湯沢間74.9キロが完成、これで東京・練馬と新潟県長岡の間約245キロすべてが開通。日本海が近くなった。

共同通信社

読売新聞社

▼テレビ朝日「アフタヌーンショー」打ち切り（10月18日） 8月放送の中学生リンチ特集が「やらせ」だったため。この日の5359回が最終回。14日には田代社長が視聴者に謝罪（写真左）、16日にはディレクターが暴力行為教唆容疑で逮捕されていた。

読売新聞社

共同通信社

◀浩宮、ブルック・シールズとデート（10月16日） 英国留学を終えて帰国する途中、米プリンストン大学で同校学生のシールズと歓談。過熱気味の「お后さがし」の渦中に見せた、大ファンの女優とのひとときだった。

昭和60年10月

- **1（火）** ●一〇億円以上の大口定期預金の金利自由化。 ●国勢調査実施。総人口一億二一〇五万人。
- **2（水）** ●関越自動車道、東京―長岡間が全通。 ●日産、セラミックターボの実用化に成功、フェアレディZに搭載して発売。
- **3（木）** ●ユースホステル会員が最盛期の三分の一、利用者はペンションに流れると新聞に。
- **4（金）** ●新日鉄が東京湾横断道の後背地の山林を大規模買い占めと千葉県議会で共産党が追及。
- **5（土）** ●中央高速で二階建てバス転落。六四人死傷。
- **6（日）** ●貯蓄目的一位は不慮への備えと世論調査発表。
- **7（月）** ●テレビ朝日、「ニュースステーション」（キャスター・久米宏）の放映開始。
- **8（火）** ●テレビ朝日の「アフタヌーンショー」のやらせリンチ事件が発覚（18日、番組打ち切り）。
- **9（水）** ●マル優悪用の課税逃れ一〇兆円と国税庁試算。
- **10（木）** ●自治体の六割が住民記録電算化と自治省調査。
- **11（金）** ●「核戦争防止国際医師の会」にノーベル平和賞。
- **12（土）** ●厚生省、「平均寿命地図」公表。一位は沖縄県。
- **13（日）** ●北京マラソンで宗兄弟が同タイムで一、二位。
- **14（月）** ●国際森林年記念シンポジウム、横浜で開催。
- **15（火）** ●日弁連、校則による生徒管理の実態調査発表。
- **16（水）** ●阪神タイガース、二一年ぶりにセ・リーグ優勝（11月2日、西武破り初の日本一）。
- **17（木）** ●象牙三〇トンのウガンダからの不正輸入判明。
- **18（金）** ●米国防総省、全兵士にエイズ検査実施と発表。
- **19（土）** ●東京証券取引所、債券先物取引を開始。
- **20（日）** ●成田空港反対派と機動隊衝突。二四一人逮捕。
- **21（月）** ●騒音基準達成は山陽新幹線で二二％と環境庁。
- **22（火）** ●農水省、米の流通に一部競争原理導入と決定。
- **23（水）** ●最高裁、福岡県の淫行処罰規定に合憲判決。
- **24（木）** ●阪神のバース、三冠王（パでロッテの落合も）。 ●横浜市の人口が九月で三〇〇万人突破と判明。
- **25（金）** ●主婦連など消費者八団体、加工乳への「牛乳」表示廃止を公取委に要請。
- **26（土）** ●大阪での技能五輪で日本は金一一個を獲得。
- **27（日）** ●中国の訪日友好の船、五〇三人乗せ博多着。
- **28（月）** ●科技庁開発の低騒音機「飛鳥」、初飛行に成功。
- **29（火）** ●微生物化学研究所、癌を拒否する体質を作る制癌剤を発見と癌学会で発表。
- **30（水）** ●全国の大学の半数で第二次ベビーブーム世代対策に定員増や学部新設と国土庁調査。
- **31（木）** ●日航機、うっかりミスで航路を逸脱し、サハリン沖でソ連機のスクランブルを受ける。

ロイター／サンテレフォト

▲6年半ぶり米ソ首脳会談(11月19日)スイスのジュネーブで、レーガン(右)とゴルバチョフが軍縮促進や対話の強化で一致。しかし戦略防衛構想(SDI)、アフガン紛争問題では互いに譲らなかった。

▼法隆寺「昭和大修理」完成(11月4日)1300年ぶり、半世紀におよんだ化粧直しを祝って、華やかに「慶讃法要」が営まれた。写真は、夢殿前に組み立てられた重文の舞台で演じられた、元禄以来という舞楽奉納。

共同通信社

▼礼宮文仁親王、成年式(11月30日)満20歳の誕生日を迎え、皇居宮殿・春秋の間で加冠の儀。天皇や両親皇太子夫妻の見守る中で冠を受け、兄・浩宮に次ぐ第3位の皇位継承者となった。

▲早大希望の桑田真澄投手、一転巨人入り(11月20日)プロ野球のドラフト会議で、PL学園のKKコンビに残酷な結果。巨人の指名を待っていた清原和博は結局、西武が交渉権を獲得した。

共同通信社

ロイター／サンテレフォト

▲コロンビアで火山大災害(11月13日)ネバドデルルイス火山が噴火。積雪が融け大規模な地滑りと洪水が発生した。麓の街アルメロは泥の海に沈み、約2万5000人が死んだ。写真は瓦礫に閉じこめられた女性。

▶防衛費1パーセント枠めぐり紛糾(11月1日)参院予算委で中曽根首相の補正予算は対象外との発言が原因。審議はたびたび中断し、ついに流会となった。竹下蔵相は、つい大あくび。

共同通信社

昭和60年11月

1(金)●全日空、ジャンボ機にスーパーシートを設置。
2(土)●コンピュータ・ソフト産業では男性の六割が月四〇時間以上残業と電機労連調査。
3(日)●黒澤明、映画界で初めて文化勲章受章。
4(月)●法隆寺、昭和九年着工の昭和大修理終え落慶。
5(火)●日本のデザイナー三一人による初の「'86春夏・東京コレクション」開催。
6(水)●コロンビアで左翼ゲリラが最高裁占拠(7日、政府軍突入し長官ら百余人死亡)。
●日本ボクシングコミッション、先天的変形脳構造のプロ選手八人に引退勧告と決定。
7(木)●大企業二万社の所得が初めて二〇兆円突破。
8(金)●大卒女子の就職率は七二・四%で、昭和二九年以来の高率と文部省。
9(土)●自然海岸は総海岸線の四六%と環境庁調査。
10(日)●三〇~四〇代の主婦にアルコール依存症が増加、と新聞に。
11(月)●越谷市で日本初の簡便体外受精の男児出産。
12(火)●厚生省、献血血液のエイズ検査不要と見解。
13(水)●コロンビアで今世紀最大級の火山噴火被害。
14(木)●プロ野球選手会、労働組合の資格を取得。
15(金)●全民労協、二年後に連合体に移行と決定。
16(土)●東急百貨店、伊藤忠と共同開発した金地金と交換できるゴールドギフト券を発売。
17(日)●衆院格差が最大四・六四倍に拡大と自治省。
18(月)●岩手県、血友病患者が前月エイズ死と発表。
19(火)●米ソ首脳会談、六年半ぶりに開催。
20(水)●プロ野球ドラフト会議で桑田は巨人、清原は西武が交渉権獲得。
21(木)●第一回ゲートボール全日本選手権、開催。
22(金)●「国連婦人の十年」日本大会、開催。
23(土)●東工大グループ、金属と絶縁体による高性能トランジスタ理論を発表。
24(日)●シンボリルドルフ、ジャパンC制し六冠馬に。
25(月)●五〇~六〇代の呼称募集で「実年」が金賞。
26(火)●大蔵省、不良融資五〇〇〇億円が判明した平和相銀に経営改善指導と決定。
27(水)●年二センチ以上の地盤沈下面積が四割増と環境庁。
28(木)●イトーヨーカ堂グループ、百貨店業界に進出、春日部市で一号店が開業。
29(金)●中核派、国鉄へ同時多発ゲリラ。
●NHK、文字多重放送を開始。
30(土)●警視庁、一発で一万発の玉が出る改造パチンコ台を廃止するよう業界に警告。

ロイター／サンテレフォト

ジェット推進研究所／AP／WWP

▲天王星のリング、鮮明に(12月7日)米惑星探査機「ボイジャー2号」が撮影。初めて可視光線でとらえられた。天王星は地球から距離が遠く、謎の部分が多かった。

◀フィリピンの反マルコス派団結(12月11日)ギリギリの調整のすえ、コラソン・アキノ(左・52)にラウレル民主野党連合総裁(中央)が協力を約束、翌年2月の大統領選挙の正副候補に決定した。

共同通信社

毎日新聞社

共同通信社

▲元横綱の輪島(37)廃業(12月21日)「花籠」の名跡を借金の担保にするなど、不祥事続出に協会がついに断。「相撲の天才」も、親方業は失格だった。

▶元「越山会の女王」復活(12月12日)田中元首相の秘書だった佐藤昭子が、東京に事務所開き。半年ぶりの活動開始を、金丸幹事長ら自民党議員37人が祝った。

共同通信社

▲国鉄で同時多発ゲリラ(11月29日)未明、首都圏と大阪など各所で通信ケーブルが切断され、国電が麻痺。国鉄分割・民営化に反対する千葉動労に呼応する過激派、中核派の犯行と断定された。写真は、火炎瓶で放火された総武線浅草橋駅。

▲「スパイ防止法案」廃案(12月20日)野党だけでなく、各界からも「表現の自由を制限する」などの批判をあび、一度も審議されなかった。写真は名古屋弁護士会170人が7日、市内で行った反対デモ。

昭和60年12月

1(日)●国家公務員の汚職摘発が前年の二倍と判明。
●社会党、中期政策案に原発容認せずと明記。
2(月)●中・高年者間でダンスがブーム、と新聞に。
3(火)●NTT、フリーダイヤルのサービス開始。
4(水)●警視庁の「いじめ特別補導班」、一ヵ月で五七人を逮捕・補導と発表。
5(木)●森昌彦(祇晶)、西武ライオンズの監督に就任。
6(金)●日本リーダーズダイジェスト、労組に対し営業停止を通告。
7(土)●「バック・トゥ・ザ・フューチャー」封切。
8(日)●那覇市で第一回NAHAマラソン開催。
9(月)●国鉄職員の気象庁への配転希望が殺到と判明。
10(火)●協和発酵、制癌剤のγ型インターフェロンをチバガイギー社に供給すると発表。
11(水)●アグネス・チャン、信州大客員講師に選任。
12(木)●老人医療費が前年度比一二・六%増と厚生省。
13(金)●東京高裁、土田邸・日石・ピース缶爆弾の三事件の六被告全員に無罪判決。
14(土)●テレビゲーム攻略本の売り上げ好調と新聞に。
15(日)●時短に逆行、年休が八・二日に減少と労働省。
16(月)●文部省、大検必修科目から体育・保健を削除。
17(火)●東芝などがビル清掃ロボット開発と新聞に。
18(水)●宮城県議会、スパイクタイヤ規制条例を可決。
●幹線道路の八五%が騒音基準未達成と環境庁。
19(木)●「抜かない治療」が広まり、歯科大学では研究・実験用の歯が不足と新聞に。
20(金)●衆院内閣委、国家秘密法案の廃案を決定。
●FM横浜開局。首都圏二局目のFM放送。
21(土)●日本相撲協会、年寄株担保に借金した花籠親方(元横綱輪島)を角界追放。
22(日)●内閣制度創始百周年記念式典、挙行。
23(月)●日航機墜落事故現地・上野村などへの日航社員の募金が七〇〇〇万円を突破と新聞に。
24(火)●愛媛大の立川涼教授、ダイオキシンを初めて人体から検出と発表。
25(水)●小学校の四分の一が一輪車を備品、と新聞に。
26(木)●日中長期貿易取り決め合意。石油九〇〇万トン前後を毎年輸入など。
27(金)●SDI構想への日本の技術供与が可能となる。
28(土)●自動車生産が過去最高の一二二六万台と推計。
29(日)●日航機事故の遺族補償交渉成立は五人と判明。
30(月)●大田区のコンビニ強盗、追走の大学生を刺殺。
●労働組合数が三三年ぶりに減少と労働省発表。
31(火)●靖国神社宮司がA級戦犯合祀を示唆と新聞に。

流行語 妻の不倫願望に火をつけた

「金妻」。TBSのドラマ「金曜日の妻たちへ」から出た流行語で、不倫願望の妻をさす。ドラマは三角関係あり、不倫やレズありで「夫が私をかまってくれない」「理解してくれない」と不満だらけの妻たちの潜在的欲望を大いにそそった。

「分衆」。博報堂生活総合研究所の造語で、分割された大衆という意味。これまで大衆は均質で、画一的なものとされていたが、個性的で自己主張を持つ、多様な潮流に分かれ始めたという判断から生まれた。電通も同じような意味で「少衆」という言葉を作った。

「カエルコール」。夫がカエル（帰る）時間を、妻に電話でコール（知らせる）しようというNTTのCMキャンペーン。語呂のよさで人気を呼んだ。

「うざったい」。面倒くさい、うっとうしいなどを意味する若者用語。自分の意にそわないことを拒否する言葉として乱用された。

「ハアー、クッサメ！」。コンタック600のテレビCMから生まれた流行語で、狂言師・和泉保之の大げさなくしゃみが笑いを誘った。

◀3月、エポック社から発売された動物人形シリーズ「シルバニアファミリー」。動物は136種類もあった。

エポック社提供

結婚 盛況！二四時間営業の結婚式用教会

東京・新宿で二四時間営業の結婚式用教会が人気を呼んでいる。名前を「スカイチャペル」と言い、ちゃんと牧師が常駐しており、深夜でも早朝でも挙式OK。開業したのは一年前で、「アメリカのラスベガスには二四時間営業の教会があり、若いカップルが深夜に挙式するケースも多い。新宿は日本のラスベガス。同じような若者がきっと出てくる」という関係者の思いつきから生まれた。

料金が安いのも特徴で、牧師謝礼から結婚証明手続き、オルガン演奏など、いっさいを含めて九万六〇〇〇円。これまでに、深夜一二時から式をあげたカップルが数組。今は大晦日の一二時、除夜の鐘を聞きながらという相談も来ているという。（『大阪日日新聞』五月二八日）

レトロ 清正の虎退治ゆかりのタバコ入れ

〔山形発〕山形県櫛引町の松田良一さん（六一）方には虎退治で有名な加藤清正が、その虎の皮で作ったといわれるタバコ入れが家宝として伝えられている。清正が嫡男の忠広に贈ったものだが、清正の没後、忠広は幕府のとがめを受けて、清正夫人とともども櫛引町に幽閉された。その後、何らかの事情で土地の旧家である松田家にこのタバコ入れが贈られたらしく、東京国立博物館の調査でもほぼ間違いないとの〝お墨付き〟を得たという。

虎の皮のタバコ入れはなめし皮を手の平の大きさに裁断し縫製、クルミと象牙の彫り物がついた紐で結ぶようになっている。（『山形新聞』一二月二〇日）

CM100年 タレント・とんねるず

テレビCF **「ヤリガイ」**――『週刊就職情報（現・B-ING）』（リクルート）

©北条司／集英社

▲北条司の「シティーハンター」が「少年ジャンプ」で連載開始。「キャッツ♡アイ」に次ぐ彼の代表作。

データ そして誰もいなくなる過疎の村の人口調査

ファッションの氾濫、レジャー施設の充実で、大都会に人口が集中する一方、取り残された村の過疎化も深刻になるばかり。この二五年間で、人口の七割がいなくなった村がたくさんある。（上段が昭和三五年、下段は六〇年）。

愛媛・別子山村＝一八一六人↓三五六人。

岐阜・坂内村＝二二五〇人↓八一四人。

岐阜・藤橋村＝四五一五人↓一〇八七人。

福井・和泉村＝五二六六人↓一九二人。

（国土庁『六二年版・過疎対策の現況』）

はやり歌

えとせとらレコード博物館提供

▲中森明菜がリズミカルに歌って、この年の第27回日本レコード大賞を受賞した。

ミ・アモーレ

作詞 康珍化
作曲 松岡直也
編曲 松岡直也

あなたをさがしてのばした指先が
踊りの渦にまかれてく
人ごみに押されて
リオの街はカーニバル
銀の紙吹雪
黒いヒトミの踊り子
汗を飛びちらせ
きらめく羽根飾り
魔法にかかった異国の夜の街

心にジュモンを投げるの
ふたりはぐれた時 それがチャンスと

迷い 迷わされて カーニバル
夢ね 夢よだから 今夜は
誘い 誘われたら カーニバル
腕から腕の中 ゆられて
抱いて 抱かれるから カーニバル
キスは命の火よ アモーレ

熱き心に

作詞 阿久悠
作曲 大瀧詠一
編曲 大瀧詠一

北国の旅の空 流れる雲 はるか
時に 人恋しく
くちびるに ふれもせず
別れた女 いずこ
胸は 焦がれるまま
熱き心に 時よもどれ
なつかしい想い つれてもどれよ
あゝ 春には 花咲く日が
あゝ 夏には 星降る日が
夢を誘う 愛を語る
熱き心に きみを重ね
夜の更けるままに 想いつのらせ
あゝ 秋には 色づく日が
あゝ 冬には 真っ白な日が
胸を叩く 歌を歌う 歌を
オーロラの空の下 夢追い人 ひとり
風の姿に似て 熱き心 きみに

えとせとらレコード博物館提供

▲CMソングとして人気を呼んだ。小林旭にとって「昔の名前で出ています」以来の大ヒット。

三面記事 やくざ業界は超一兆円産業

一月二六日、山口組の竹中正久組長と中山勝正若頭という、ナンバーワン、ナンバーツーが一和会の組員によって射殺されるという事件が起こった。経済的利権をめぐるトラブルがもとと言われる。今、やくざ経済はどうなっているのか？ 科学警察研究所の調査によると、やくざ経済の市場規模は今や一兆円を超え、一兆三〇〇〇億円くらいと言う。そのうちの約四〇パーセント、四一五〇億円が覚醒剤で、後は売春、債権取り立て、それに用心棒代やギャンブルのノミ行為などである。たとえば竹中組の場合、プロ野球の全公式戦、春夏の高校野球を対象にしたノミ行為だけで一億五〇〇〇万から二億円の収入があると言われている。

やくざは日本にざっと一〇万人いて、幹部クラスの平均年収は三〇〇〇万円くらい、ヒモで一〇〇〇万円くらいになる。しかし末端は三〇〇万円くらいで、親に生活の面倒を見てもらっている。（『朝日ジャーナル』二月一五日号）

▲7月1日、ダイエーグループが「オレンジページ」創刊。定価200円。

社会 〝塀の中〟の住み心地は？ 日本初のムショ調査

「あなたのいる刑務所の〝住み心地〟はどうですか？」

三菱重工ビル爆破事件（昭和四九年）で懲役八年の判決を受けた荒井まり子被告（三四）を中心とする六人が、日本の刑務所や拘置所に収容されている人々を対象に日本初の調査を行った。一〇〇人にアンケートを配布して、回答は二三人。それを見ると、

入浴＝一回三分なので、冬にはかえって風邪をひく（大阪、京都）。医療＝薬を頼んだら「善良な市民と同じ医療を受けることは許されない」と言われた（府中）。歯科は抜歯以外やってくれない（横浜、札幌）といった回答が寄せられた。（『新大阪新聞』三月八日）

◀この年、ウインドサーフィンが若者の間で人気。写真は貝塚市二色の浜海岸。

朝日新聞社

セックス 市の広報でお知らせ男女生み分けセックス法

東京・東久留米市の広報紙「ひがしくるめ」に〝簡単な男女生み分け法〟という記事が掲載された。真面目な記事だが、これが妙に刺激的。たとえば「女子を望む場合」には、

①排卵日の二日前に最後の性交をする。②最後の性交を始める約一五分前に、薄めた食酢で膣を洗浄する。③夫は浅く挿入して射精する。④妻はオルガスムスに達しないように終わらせる。⑤最後の性交から一週間は禁欲する――といった調子。これに対して「男子を望む場合」には、食酢でなく重曹水で膣を洗浄する。妻はできるだけ強くオルガスムスを感じることが望ましいとある。

役に立つような、お節介なようなと、市民の反応も今イチだった。（『週刊文春』二月二一日号）

この年の初もの スポーツに水虫防止に五本指の靴下

●**パンストの出前** 大阪の会社が始めたもので、一足（九五円）でもOK。

●**カンガルー料理の店** こちらも大阪にオープン。バーベキュー、一人前一二〇〇円。

●**ミステリー専門書店** 愛知県岡崎市にオープン。

●**恐竜の足跡** 群馬県中里村で日本で初めて発見。

▶一一月五日から一六日まで、「86春夏・東京コレクション」が開催された。

共同通信社

本物志向か、たんなるファッションか？八万円のディナーの一方で残飯一〇〇〇万トン！
"一億総グルメ"が変えた日本人の舌

共同通信社

▶東京・六本木のアイスクリーム店で行列する人たち。テレビや雑誌などで紹介された店には、ＯＬたちが殺到した。

日本列島が、空前の"飽食の時代"にひたっていた。一人八万円の豪華ディナーに人々が群がり、都心に大型高級食材店がオープンし、世界から空輸された珍味のカタログ販売が大隆盛となった。一方、調理済み食品に人気が集まり、年間の漁獲高に匹敵する一〇〇〇万トンもの残飯が生ゴミとして廃棄されていたのである。

"飽食の時代"の反面 食糧自給率は五〇パーセント

「機長たちがおいしいものを世界から」とうたった小冊子が、静かなブームを呼んでいた。昭和六〇年夏に創刊された「グルメ・ファーストクラス」には、世界から空輸した、海老やカニ、フォアグラ、トリュフ、キャビアにはじまり、チーズ、ワイン、ブランデーなど、グルメ好みの逸品がずらりと並ぶ。発行は日本航空グループのエイジィエス通商。会員限定の高級食材の無店舗販売だった。

「当初の会員は約五〇〇〇人でしたが、口コミで広がり、翌年の夏には、会員が一〇倍強の五万四〇〇〇人にふえました。品が粒よりだったのに加え、現役の国際線機長の世界の食べ物談義、さらに中国料理の周富徳、フランス料理の石鍋裕さんら実力派の料理人が登場したのが効果的だった」

とエイジィエスの小西健太常務は言う。

前年の昭和五九年九月、東京に開店した、著名なパリのレストラン「トゥール・ダルジャン」は、この年のパリ祭に、八万円の豪華ディナーを企画したが、定員の八〇人はまたたく間に埋まった。当日は、スメタナ弦楽四重奏団の演奏を楽しみ、それから本格的なディナーに移る凝った演出。通常でも鴨料理コースとワインで、一人三万円程度と庶民には手が届かず、ハイソサエティーか社用族が客の大半だったのが、さらにこの日は盛装の客が群がったのである。

一方、家庭用食材にも大きな様変わりが起きていた。一〇月にオープンした東京・新宿の「クイーンズシェフ」は伊勢丹直営の高級食材店。五五〇〇品目もの食材を一堂に集めたのがミソで、商品ごとに産地、製造方法、栄養価などを表示した。顧客の食に対するこだわりに配慮した店舗構成だった。さらに、チーズ、肉などはその場で切り売りするなど百貨店とは違う高級感を演出してみせた。さらに、食品各社が「デリカテッセン（高級食材）」の展開に力を入れ、デパートの食品売り場がこれに対応して、競って売り場を拡充したのも特徴的だった。消費者は、多少割高でも「本物の味」を求め始めたのである。

この年はまた、日本の黒字体質に世界の非難が集まった。このため、日本貿易振興会は「インポートバザール・東京」を開催したが、そこでも、入場した約四〇万人の人気は、もっぱら"食"に集中した。五億円強の売り上げのうち、食材や酒が三二パーセントを占めたのである。

グルメ相手の新ビジネスも登場した。伊勢丹がこの年一一月に発売した「ホームパーティギフト」は、一〇人分一五万円で、中華（留園）、懐石（わらびの里）、フランス料理（ホテルオークラ）の調理師とウエイトレスが各家庭に出向いて、サービスしたのだった。

こうした中で、経済効率万能主義がまかり通り、本物の味が失われつつあることに警鐘を鳴らす、"自然食マンガ"の「美味しんぼ」が大ヒットした。この年の正月に、初めて単行本化された『美味しんぼ』は、あっという間に一〇〇万部を突破する。連載は今も続き、単行本は平成九年一一月末現在で、八六〇〇万部の超ベストセラーとなっている。

◀身近にはない"おいしいもの"を食べるために、地方の特産物を取り寄せる「ふるさと小包便」も、この頃人気だった。

共同通信社

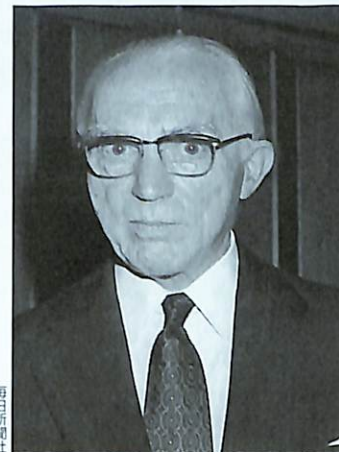
▲昭和60年1月1日刊行のマンガ『美味しんぼ』。1年間で100万部が売れた。

外から見たNIPPON

“ハイテク立国”日本へのロベール・ギランの危惧

——佐伯 修

この年、筑波で開催された「科学万博」は、海外でも注目をあびたが、フランスの新聞・雑誌の反響を、同国のベテラン日本通ジャーナリスト、ロベール・ギラン（一九〇八～八六）がまとめて紹介している（『朝日新聞』五月四日）。「リベラシオン」紙などが「(日本はもはや）外国の発明を模倣、発展させるだけの国ではないことを実証した」と好意的な見方をしているのに対し、「フュテュリブル」誌の「筑波は多分気の狂った技術者のディズニーランドにすぎないのだろう」という酷評も見られる。

ギラン自身の見方はどうか？「科学万博」そのものには、彼はコメントを加えていないが、翌年刊行された遺著『極東』（邦題『アジア特電』）からは、彼が日本のハイテク技術開発による発展を評価しつつ、それによる経済的な超大国化に歯止めがきかなくなり、米国やヨーロッパとの関係が「近い将来、経済摩擦によってそこなわれる危険があるのではないか？」との危惧が読みとれる。「日本の政治家たちの弱さと凡庸さ」は「ザイカイ」の暴走を、かつての軍部の暴走と同様に、制御できないのではないかと、彼はあやぶむのである。

「一九六五年の日本は、実に申し分のないイメージを与えていた。一九八五年の日本に対して、わたしは大いに感嘆してはいるものの、不安を禁じえない」（矢島翠訳）

そして、一〇年後、ギランの危惧は現実のものとなっている。また、彼は日本の文化についても危機感を抱き、日本人には自己の文化と自然について「越えてはならぬ限界がある」とも警告している。

「日本人自身が十分に意識していないのなら、彼らの産業革命が事実上文化革命とだぶっていることの危険について警告する必要がある。その文化革命は、意図したものでないにせよ、中国の文革に劣らず有害なのだ」

ギランの極東との因縁は、一九三七年、「アヴァス通信社」からの上海への特派にさかのぼる。翌三八年、東京支局長となった彼は、そのまま敗戦まで日本国内にとどまり、戦時下日本の全期間を目撃する。スパイとして処刑されたゾルゲとも記者仲間だった。

ほかの外国人があまり書き残していないことで、彼が記していることのひとつに、日本の官憲の、外国人男性と日本人女性の交際への妨害がある。「表向きのばかげた動機は、スパイ防止。真の動機は、人種差別と、性的嫉妬」からの官憲のいやがらせにより、彼も恋人を失っている。

▲戦後は「ル・モンド」紙で活躍。

毎日新聞社

だが、飽食の時代は、バラ色だけではなかった。この年の食糧自給率は全体で五〇％、穀物だけに限ると三〇％、つまり大半を輸入にたよっていたのである。

その一方で、全国で捨てられた残飯は、一〇〇〇万トンに達したと推測されている。これは、日本の年間漁獲高にほぼ等しい数字だった。

フランス料理ブームがグルメ指向を牽引した

こうしたグルメブームはなぜ起こったのだろうか。

「引き金は昭和五〇年当時からの、フランス料理ブームです。昭和四五年の大阪万博で、本物のフランス料理を見せられ、ショックを受け、本場に修業に出かけたシェフたちが戻り、徐々にファンを開拓したことが第一。それに、お金に余裕ができた、“料理天国”（TBS系）の放映が始まるなどマスコミがあおった、女性の社会進出がさかんになった、など多くの複合的要素がブームにつながった」

と分析するのは、辻調理師専門学校企画情報本部長の山内秀文氏である。

グルメブームを中心的に担ったのは女性たち。外食派の主力はいわゆる「アンノン族」だった。彼女たちは、「おいしいだけじゃダメ。お洒落なムードがあって、ヘルシー感覚も忘れずに」と、雑誌を片手にファッショナブルなレストラン探訪に駆けめぐったのである。

もうひとつの流れは、デリカテッセンはじめ、出来合いの総菜の売り上げの急増である。その反面、米、果物、野菜、魚などが軒並み落ちこんだ。家庭で調理する食材が下降線をたどり、総菜は五〇年代を通じて、実に六〇％もの驚異的な伸びを見せたのだ。これに一役かったのが働く女性たちだった。

一方、ありあまる食品を前に、若者を中心に「好きなものしか口にしない」風潮が蔓延し始めていた。その結果、「甘さを感じない。何を食べても同じ味しかしない」と訴える味覚不全患者が激増したのである。「味覚外来」を設置した病院では、専門医が週一回診察にあたったが、患者がふえすぎ、手がまわらない状態が続いた。味覚不全者のふえ方が最も顕著なのは二〇代の女性で、極端なダイエットやインスタント食品、さらには清涼飲料水のとりすぎによる亜鉛欠乏などが原因と言われた。専門医は「飽食の時代の栄養失調」と診断したのである。

◀この頃、エスニック料理店もふえ始めた。写真は東京・南青山の高級タイ料理店で。

共同通信社

往きて還らぬ

▲10月10日　ユル・ブリンナー(65)
映画俳優。坊主頭のスタイルで有名。1956年「王様と私」のシャム王役でスターとなり、アカデミー主演男優賞受賞。

▲9月11日　赤尾好夫(78)
出版人。受験物出版の先駆者。昭和6年欧文社(後に旺文社)創設、「受験旬報」創刊。文化放送会長もつとめた。

▲2月22日　藤山愛一郎(87)
政治家、実業家。大日本製糖社長、日航会長を歴任。昭和32年外相、翌年衆議院議員(当選6回)。父は藤山雷太。

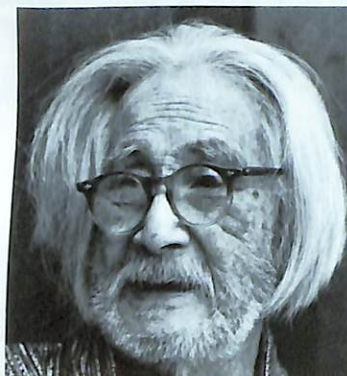
▲1月22日　向坂逸郎(87)
マルクス主義経済学者で、元九大教授。『資本論』の翻訳も手がけた。三池闘争の指導者としても知られる。

▲10月24日　永田雅一(79)
元大映社長。昭和22年社長に就任、「羅生門」「雨月物語」などを制作。ワンマン社長で知られ、“ラッパ”と呼ばれた。

▲9月11日　夏目雅子(27)
女優。テレビ「西遊記」、映画「鬼龍院花子の生涯」などに主演、ファンを魅了したが、白血病により死亡。

▲6月9日　川口松太郎(85)
小説家、劇作家。昭和10年「明治一代女」などで第1回直木賞受賞。戦後は大映専務にも就任。妻は女優の三益愛子。

▲1月31日　石川達三(79)
小説家。昭和10年「蒼氓」で第1回芥川賞受賞。社会批判をテーマに書き続けた。ほかに『生きてゐる兵隊』など。

時事通信社

▲10月25日　物集高量(106)
国文学者。大正5年父の物集高見と『広文庫』『群書索引』を編集、出版。自伝『百歳は折り返し点』がある。

◀3月28日　マルク・シャガール(97)
ロシア出身の画家。鮮烈な色彩で、詩情豊かな幻想的作品を多く描いた。代表作に「私と村」「女曲馬師」など。

▲12月24日　加藤唐九郎(88)
陶芸家。昭和初期古窯を発掘調査。昭和27年無形文化財。昭和35年の“永仁の壺”事件で、すべての公職を捨てた。

◀3月30日　野上弥生子(99)
小説家。大正一一年「海神丸」を発表し、一流作家に。昭和四六年文化勲章受章。ほかに『秀吉と利休』など。

▲2月20日　中野好夫(81)
英文学者、元東大教授。戦後は雑誌編集長として護憲運動などにも活躍。シェークスピア翻訳者としても著名。

週刊 YEAR BOOK 日録20世紀

第58号 4月7日(火)発売 定価560円
毎週火曜日発売 講談社 本体533円

1986［昭和61年］

●特集
二億～三億キュリーの放射能が飛散！ チェルノブイリ原発事故の恐怖／三原山、二〇九年ぶりの大噴火！ 一万島民「大脱出」の一部始終／「『生きジゴク』になっちゃうよ」 鹿川裕史君の死と「いじめ」の卑劣！／アイドル・岡田有希子自殺！ その後を追った若者たちの〝心の奥〟

●ニュース・ファイル
フォト＋日録で再現する365日…スペースシャトル「チャレンジャー」爆発（1月28日）／男女雇用機会均等法、施行（4月1日）／英皇太子夫妻来日（5月8日）／ファミコンソフト「ドラゴンクエスト」発売（5月27日）／防衛費の対GNP比が一％突破！（12月30日）

●人物クローズアップ
〝鉄人〟衣笠祥雄、世界記録に挑戦中！

●決定的瞬間
エイズ患者ケン・ミークスの静かな告発

●美の出会い
猿之助の「ヤマトタケル」連日満員！

●女たちの肖像…土井たか子、初の女性党首に／勝者・敗者…中野浩一が世界一〇連覇達成！／証言・あの日この日…宮崎緑・江崎玲於奈／20世紀博物館…日本玩具資料館（東京）／「現場」を歩く…大手町、カルガモ親子の〝聖域〟／外から見たNIPPON…アフリカ人留学生の「日本で頭にくること」

●ベストセラー…堺屋太一『知価革命』／スターと名場面…「コミック雑誌なんかいらない！」／モノ語り'86…「シャンプードレッサー」「便座除菌クリーナ」

日録20世紀専用バインダー

高級感あふれる特製バインダーを用意しました。「日録20世紀」全100巻を10冊ずつ年代順にバインダーにとじてそろえれば、「20世紀」ビジュアル百科のできあがり。10年ごとに分類するためのシールも添付。取りはずしは簡単で、整理にも便利、じょうぶな仕上がりです。あなたの書斎を飾るホーム・ライブラリーとして、永く保存してお楽しみください。バインダーは1部1300円（税別）。全国の書店でお求めください。

■既刊好評発売中（既刊57冊！ 1930・1940・1950・1960・1970年代がそろいました）

一九四〇年代
第19号1941［昭和16年］ 第20号1942［昭和17年］ 第21号1943［昭和18年］ 第22号1944［昭和19年］ 第3号1945［昭和20年］ 第23号1946［昭和21年］ 第24号1947［昭和22年］ 第25号1948［昭和23年］ 第26号1949［昭和24年］ 第27号1950［昭和25年］

一九五〇年代
第36号1951［昭和26年］ 第37号1952［昭和27年］ 第38号1953［昭和28年］ 第39号1954［昭和29年］ 第40号1955［昭和30年］ 第41号1956［昭和31年］ 第42号1957［昭和32年］ 第6号1958［昭和33年］ 創刊号1959［昭和34年］ 第11号1960［昭和35年］

一九六〇年代
第12号1961［昭和36年］ 第13号1962［昭和37年］ 第5号1963［昭和38年］ 第2号1964［昭和39年］ 第14号1965［昭和40年］ 第15号1966［昭和41年］ 第16号1967［昭和42年］ 第17号1968［昭和43年］ 第18号1969［昭和44年］ 第4号1970［昭和45年］

一九七〇年代
第29号1971［昭和46年］ 第7号1972［昭和47年］ 第30号1973［昭和48年］ 第31号1974［昭和49年］ 第32号1975［昭和50年］ 第9号1976［昭和51年］ 第33号1977［昭和52年］ 第34号1978［昭和53年］ 第35号1979［昭和54年］ 第8号1980［昭和55年］

一九二〇年代 一九八〇年代 最新刊
第52号1940［昭和15年］ 第53号1981［昭和56年］ 第54号1982［昭和57年］ 第55号1983［昭和58年］ 第56号1984［昭和59年］

■今後の刊行予定

▶第59号1987［昭和62年］4月14日発売
金賢姫と大韓航空機爆破●南氷洋捕鯨に幕●マドンナ、M・ジャクソン来日●「赤報隊」、朝日新聞銃撃

▶第60号1988［昭和63年］4月21日発売
「李恩恵」拉致事件●「リクルート事件」の〝醜悪〟構造●〝じゃぱゆきさん〟●ソ連軍、アフガン撤退

▶第61号1990［平成2年］4月28日発売
「即位の礼」挙行●秋山豊寛さん、宇宙へ●少子化社会の到来●東西ドイツ統一の〝理想と現実〟

▶第62号1921［大正10年］5月12日発売
皇太子、欧州巡遊●安田善次郎と原敬、暗殺●柳原白蓮の恋と出奔●チャップリンの「キッド」

▶第63号1922［大正11年］5月19日発売
ツタンカーメンの墓発見！●ワシントン軍縮会議の衝撃●児童雑誌ブーム●シベリア「極東共和国」

▶第64号1924［大正13年］5月26日発売
皇太子、ご成婚●宮沢賢治『春と修羅』でデビュー●「排日移民法」成立！●孫文、最晩年の輝き！

バックナンバーは、お近くの書店でお求めください。創刊号のみ282円（税別）です。直接弊社にご注文の場合は、冊数に関係なく、送料200円のご負担となります。なお、代金と送料は先にお送りください。申込先 講談社読者サービス係 電話03-5395-3676

ミニ事典

1985年のキーワード

名水百選
水質保全への関心を高めるために環境庁が選んだ、保存すべき貴重な一〇〇の湧水・川など。一月四日、応募総数七五五件の中から第一次選定分として三一件を発表。八月には「お鷹の道・真姿の池湧水群」が「名水」に選ばれた東京・国分寺市など八六市町村が、全国水環境保全市町村連絡協議会を発足させた。

静岡県清水町提供
▲名水百選のひとつ、静岡県清水町の「柿田川湧水群」。日量約100万トンの清冽な水が流れる。

デイ・ケア
自治体が家族の負担軽減や老人の自立をうながすために行う、在宅老人サービス。デイ・サービス事業。入浴・食事・機能回復訓練などを行う。昭和五四年・五六年の厚生省通達により、通所サービスと居宅で行う訪問サービスの二本建てとなった。六〇年一月一九日に東京都中野区が、痴呆性老人に限り日中八時間預かる制度を発足させるなど、各市町村がさまざまの改善を重ねている。

タクシー値下げ訴訟
近畿運輸局に運賃値下げを申請して却下された京都市のMKタクシーが、処分の取り消しを求めて起こした訴訟。前代未聞の裁判に注目が集まった。一月三一日、大阪地裁は原告勝訴の判決を下し、運輸省がタクシー行政の柱として掲げてきた「同一地域同一賃金」の原則を否定した。

新風営法
「風俗営業等取締法」を全面改正して二月一三日に施行された法律。正式には「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律」。対象業種を拡大して営業時間や地域を規制。個室つき浴場、のぞき劇場、ラブホテルなどを届け出制の風俗関連営業にし、ホテル関係をのぞく営業時間を午前零時までなどとした。

市場金利連動型預金
略称、MMC。大蔵省が預金金利自由化の一環として、三月一日から一口五〇〇〇万円以上の預金に導入、平成元年以降、段階的に小口預金にも適用された。毎週金曜日に日銀から発表される譲渡性預金金利を基準として、毎週金利が上下するが、従来の定期預金より金利がよいのが魅力とされた。

アメニティ
生活空間に求められる快適さ、心地よさのこと。高度成長によって物質的豊かさを一応達成した都市サラリーマン、文化欲求の高い女性層を中心に広がった新しいニーズ。この頃、さまざまな場面でこの言葉が使われるようになった。環境庁が四月一七日に打ち出した「アメニティ・タウンづくり」もそのひとつ。金沢市など二〇市町村をアメニティ・タウンに指定、自然や歴史的な町並みを生かすとした。

国民年金法改正
高齢化社会における年金水準の引き下げを目的に、国民年金法などの一部を改正した法律。五月一日公布、翌年四月一日施行された。これにより新国民年金はその適用が被用者やその妻にも拡大され、四〇年間加入で六五歳から月額五万円が支給される国民共通の基礎年金となった。

指紋押捺制度
日本在留外国人が、外国人登録証の五年ごとの切り替え時と再交付時に指紋押捺を課される制度。昭和二七年施行の外国人登録法に基づく。前年来、在日朝鮮人などを中心に押捺拒否者が続出。政府は五月一四日、指紋押捺方法を刑事被告人と同様だった回転押捺から平面押捺に変更、平成二年（一九九〇）日韓問題に発展するや、ついに永住者は指紋押捺の適用除外者となった。

男女雇用機会均等法
「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等女子労働者の福祉の増進に関する法律」の略。五月一七日成立、翌年四月一日施行。求人、配置・昇進、定年・退職などの男女格差をなくす、女子の時間外・深夜残業、休日労働を認めることなどがおもな内容だった。昭和四八年に国連総会で採択された女子差別撤廃条約の批准がこの年と定められたため、成立が急がれていた。

共同通信社
▲男女雇用機会均等法に反対するデモ。労基法の女性保護規定廃止が、批判の対象となった。

ペーパー商法
金塊やダイヤモンドなどを売ると見せかけて、預かり証（ペーパー）しか渡さず、金銭を入手する詐欺商法。現物まがい取引とも。六月一八日、会長の永野一男が報道陣の眼前で刺殺されて話題となった豊田商事事件は、金塊を現物まがい商品とした詐欺事件だった。翌年五月、この事件を契機にペーパー商法などの防止をめざした「特定商品等の預託・取引契約の法律」が公布された。

ライブ・エイド
アフリカの飢餓救済のため、アイルランド出身のロック歌手ボブ・ゲルドフによって企画された慈善ロックコンサート。ロンドンとフィラデルフィアの会場にマイケル・ジャクソン、ポール・マッカートニー、ミック・ジャガーら世界一流の歌手が集合。衛星生中継で世界八〇ヵ国余に一六時間にわたって流され、救援資金約一六五億円を集めた。フィナーレとなった「ウイ・アー・ザ・ワールド」の大合唱が感動を呼んだ。

ロイター／サンテレフォト
▲フィラデルフィアのライブ・エイドで歌うリック・スプリングフィールド。

市場開放行動計画
政府・自民党合同の対外経済対策推進本部が、貿易摩擦対策として打ち出した、市場開放をめざす行動計画（アクションプログラム）。七月三〇日決定。一八五三品目の関税引き下げまたは撤廃、輸入制限の緩和、八八件の基準認証・輸入手続きの改善、金融・資本市場の自由化、サービスの自由化と輸入の促進など六分野での改善措置があげられた。

週刊YEAR BOOK／日録20世紀 1985

CONTENTS

●編集
講談社総合編纂局
アート・ディレクター／山口至剛
表紙デザイン／山口至剛デザイン室（茂村巨利）＋渡邉裕二
本文レイアウト／デザインオフィス八起き
編集協力／(有)エービーシープレス (株)カマル社 (株)コミュニケーションハウス・ケースリー シド・プロ (有)マックス (有)マライカ 飯田守 小原伸夫 鍵和田良輔 小松邦宏 張替政展 藤森雅弘 結城順一 吉田忠正

●写真協力
奥村健太郎 霜越春樹 ジョン・パーキン 北条司 望月誠 朝日新聞社 AP キネマ旬報社 共同通信社 産経新聞社 サン テレフォト 時事通信社 集英社 東京新聞社 報知新聞社 毎日新聞社 南日本新聞社 読売新聞社 ロイター WWP エポック社 キノシタ映画製作 コナミ ナムコ 西友 任天堂 ハドソン えとせとらレコード博物館 国立フィンセント・ファン・ゴッホ美術館 ジェット推進研究所 静岡県清水町

本誌収録写真につき、所在不詳などのため事前連絡ができないものがありました。お心当たりの方は、編集部までご一報ください。

1985

●日航ジャンボ機御巣鷹の悲劇 4月4日号

第2巻第14号 通巻57号

編集人 近藤達士 発行所 株式会社講談社 郵便番号112-8001 東京都文京区音羽2-12-21

定価560円

PILOT

145品、書けました。

世界初、激細で蛍光カラー

●新開発バイオポリマーインキでにじまずクリアーな発色。●3点支持方式で、極小超硬ボールを装着。

■ハイテックC LH-20C3(0.3ミリボール/筆跡幅0.15mm)
■ハイテックC LH-20C4(0.4ミリボール/筆跡幅0.2mm)
インキ色:黒・赤・青・グリーン・ブラウン・ライトブルー・オレンジ・ピンク・バイオレット・イエロー・ブルーブラック・蛍光グリーン・蛍光ブラウン・蛍光ブルー・蛍光オレンジ・蛍光ピンク・蛍光レッド・蛍光バイオレット・蛍光イエロー
■ハイテック05 LH-20C5(0.5ミリボール/筆跡幅0.25mm)
インキ色:黒・赤・青・グリーン・ブルーブラック ■各1本200円〈税抜〉

ビッシリ書ける、ハッキリ読める。ハイテックC

HI-TEC-C

ブルーブラックも登場。

製造元:パイロットインキ㈱

雑誌 23712-4/14 T1123712040566
Ⓛ-2001/1/1

印刷 凸版印刷株式会社 製本 大村製本株式会社